式入火爐鑛鎔新山鞍のふのき

あると友那懶は見逃し膨んに 一ふのが支那の主張である、然し其の意文正式會議に必ず振彩する肚で 定の時に消滅したものであると云、瀬間題はソウエート政府としては ソウエートの航行機は既に衆難協

を原駐屯地に闘

州では後をので

く 配飾り電信及び電話膨胀に飲い 気鋭の人物だが往前の記者に快よ で、メルズロフ氏は本年三十七歳

関しては今其内容を發表するの「危及び電話機問題の露皮交渉に充分判らず研究中であるが、電流分判らず研究中であるが、電

標点を掘の偏台後日で

松黑航行權問題

勞農正式會議に提出

支那側飽くまで反對せん

那新聞は舞りに和平解決を佩ふるも 山西派軍事會議 野聲明 時局は樂觀を許さす oaが、太原では山西各

冉度の反蔣策謀 避 郷鹿建勝氏は突口、第三路軍指揮 氏が護東をめがけて、第二路軍指揮 大が護東をめがけて、第二路軍指揮 東を対けて、第二路軍指揮 東を対けて、第二路軍 は監縁山氏が建浦線を南下、海底線輸氏は淡口、第三路軍に

蔣閻の妥協條件 石取は職権戦を取引するととにつて必らず初志を建すると云ふって必らず初志を建すると云ふる時職を目第に入れる所、そこ理由がある「金に買はれても別。 表だ中原平かならずである

完成後の影響

砂らず

は議後に延期か

宮機關の

山西派内部の大

各方面の代表が右柱左往の変

昨氏は久方ぶり

角腰が折れた平黒地方の山西ある。間の北京再建の脚業は

深の熊軍亦態度一要、汗藤衛野の 取は間氏の命に反し動かず、韓石 取は間氏の命に反し動かず、韓石

四、太原の反動分子 虚制すること 虚制すること 直ちに實行すること 直ちに實行すること

の狭臓薬を 面目を立て

の前記を設

玉棺園で 連覧はここで と開発したので にと同じます。

楽港は本年四月十五日から窟 籌備處長任命

運行政長官の張炯相氏が低命さるに決定し郷郿嶋長として前将

南南から 支那全省に機関として北浦のみならず 住に近く株主総合

通信權問題まだ

交渉を開始せぬ

の一部でダリゴスト

果鐵新任電信課長談

と述べた 無產派合同促進

其他も同階した

九時大連港外斎豫定

金は米決定である

兩黨首懇談

障碍除去に関して

の膨酸を膨るべしと云ふに決定し 通会を發する管を懸止する旨の膨酸を膨るべしと云ふに決定し 通会を發する管

小橋前文相

起訴後初喚問

かつてみた。

東北四省とソウェートの通商関係の意味から比等の各機関復活の概としては越て七月十日前の原場依領としては越て七月十日前の原場依領としては越て七月十日前の原場依領と

は尚早 ス商相の演説

臣フランメンは左の如き演説を職の本會議に於てフランス商和 ではドイフ、ペルギーも饗成するものと信ずる、英、佛は駅に 開税協釣を確立したから其間開 のものと信ずる、英、佛は駅に はドイフ、ペルギーも饗成す であらうと思ふ、此機案 がべきであらうと思ふ、此機案

とて左の如く大阪省異勝人事決定 【東京十日接電】十日接種り開表 省銀行局長 保倉態三郎

管財局選事(二)

内·鮮直通飛行

けふ立川飛行場出發

の順内産製保護、周温振唱に軒載さ

奥 しつ」あるが、安東

回社が城内に有る

「東京十日發電」日本航空輸送会 立川出設八時五十九分大阪潜九時で東京、京城間直通対職流行は 十六分大阪出設議院に向ったっ、 此の東京、京城間直通対職流行は 十六分大阪出設議院に向ったっ、 北の東京、京城間直通対職流行は 十六分大阪出設議院に向ったっ、

電氣事業

九日二十時三十分割列車で大平間 が山西遊磯長及び神中所長は最近 が山西遊磯長及び神中所長は最近

出をより純良に、経済的に抽出 出をより純良に、経済的に抽出 出をより純良に、経済的に抽出

念日を祝賞せねばならぬ。 十一日(西の風) 昨日の景が時一時間

【吉林十日養電】園民政府教育部 「訴後最初の晩問を受け十日午前九に於ては近來各地の外人及び教會」 「訴後最初の晩問を受け十日午前九に於ては近來各地の外人及び教會」 「訴後最初の晩問を受け十日午前九 「東京十日養電」小棚前文相は起 産出の新發見

驚くべき近代科學の偉力 山西炭礦長の報告

大藏省異動

製品を製出すべく理麼博士神中所 消費用リゾール代用品(リゾール代用品(リゾール) 推順宏観研究所にては石炭、ボタ 機動に繋告のため来達したが山西 機能宏観研究所にては石炭、ボタ 機動に繋告のため来達したが山西 野代は進む、文化は形開する。 特化、われらは欧新学戦、二十五 学前の撃闘一致の標準を以て、今 学前の撃闘一致の標準を以て、今 がは、以て新時代の では、それはこれる。 では、あらゆる人事を解析して天の では、あらゆる人事を解析して天の では、ならゆる人事を解析して天の では、ならゆる人事を解析して天の では、これはこれる。これを表 り、また叢海であらればなられる「一十五年の今日、この空前の事

泉間の興殿、實にこの一帯に聴 中

風

軽便一高野 D 度 即田田祖注意をつか

新蘭到着

0

馬

燈

まつ、組織せらる A 南京政府 技術化主義につぶりの國民黨に 大学化主義につぶりの國民黨に ないまでは、一方に れに築まった自己の間民

四省官職があの態度になる管理があの態度になる。

るを東西省官議は、白米職人ない。まず別の北端に下せし根は、そ

根據は極めて漸弱で順に當時

元であった、

っては、類の際と云ふより外はから武力を以て軽へられしに弦

宋四省(共司)

大藏書記官、**別**原 忠三 大藏書記官(三)命主計課長

命會計即長

造幣局長 永井

佐願免本官

軍縮會議は順調

決裂を傳ふは臆病者

英首相米國へ放送

職氏太原より北 ことになっ

本金八百一

たのでロシャの権利 してゐるので

を するから一間脈とはなるであらう なから一間脈とはなるであるとで へてあるのでする いので勢能としては本間脈の交渉と其復活を要求 ては本間脈の交渉と其復活を要求

其代價の收號が不鮮明であると共 理運盛的が無効であるとの 理運盛的が無効であるとの であり、特に前満光精十四年の 新央産業はの総動は終えず、最 酸よ新聞の報道を、哈爾賓に支 間に、増はるるは常然ならずや

は、現代を表するとあっては、 で関の根をはる北端に、赤化主 薬が絶えぬも無理からぬこと、 これに直接常園が肩を入れぬと これに直接常園が肩を入れぬと

つき雷跳官版に肌合を酸せしと

が、森化主義を嫌ふに於て、之が、森化主義を嫌ふに於て、之が、森化主義を嫌ふに於て、之をも其政治的自地にいれて、蔣 をも其政治的自地にいれて、蔣 をも其政治的自地にいれて、蔣 を明にすべしと云つたが、其態度は、既に霧か陽かではあるがい、深より霧が陽かではあるがい、深より霧が陽かではあるが すべからく解離動抗への態 地方委は戦合代表験別、凝度、大準、伊鵬、脚端、佐竹の六氏は八章、伊鵬、脚端、佐竹の六氏は八百時間に於て決議された左配各案が中に訳き大戦選事を初め護道、地件に訳き大戦選事を初め護道、地

鮮人側頭に觸する件業敷の内地艦出税に闘する件 施野機闘移轉の後告期間に陽本方委員の待遇に関本人採用の件 がある。 があった

改善陳情 鮮家屯の施設

しい、十一

に保を代表して十日午前補緩本社 作民を代表して十日午前補緩本社 に保を地方部長を訪問し同地方の 土木、微生等の各施設改善方に腸

でと昔の人間から考へるなど、石炭の液ル に、石炭の液ルのガラス器を顕 なつてないが兎に少豆腐なつてないが兎に少豆腐なのとり に、石炭の液ル

しても探算がとれる 最

滿洲諸問題陳情 地委代表満鐵を訪問

御家庭には勿論の事、特に顧師、學生、 畑子はチョツキのボケットに1 畑子はチョツキのボケットに1 一個は御用意を1 一個は御用意を1 電池の耐久一ケ年リ

ヨーク號は十日到記の見込である の一行中四名は本日常地に到演し た尚護機船シテー、オヴ、ニュー た尚護機船シテー、オヴ、ニュー 損害調査 市廠布區鉾町七九長谷寺前豐實氏(前滿日編辦局長) 氏(奉天商職書記長) 氏〈步兵大佐長崎醫大 十一日午前 今や書が風は全風的の不景楽に繋はれ、楽編の学は落ちてより、ます。健康者は元より、景い間虚の接れた病器者は完全がないとい大祭です。この際同島の方々に私達の指導する、最近ではい大祭です。この際同島の方々に私達の指導する、最近ではい大祭です。この際同島の方々に私達の指導する、最近ではい大祭です。この際同島の方々に私達の指導する、最近ではい大祭です。この際同島の方々に私達の指導する、最近ではい大祭では、東端のの景にある方のよどに多い事はいた。 肺患と緊縮時代 京動の他事門名祭療法 あちうき がよらめ、歌歌

(日曜火)

野戦食を御

老癈兵遺族らたゞ咸泣す

戸山學校で催された大祝賀會に

畏し、聖上陛下の行幸

五年陸軍記念日大政智 大元は陛下には大歌位 大元は陛下には大歌位 大元は陛下には大歌位

つた、宴館り陛下には御少 を召せられ給へば 際に浴する老職兵や ででいる。

妙妓を揮ふ 愛兵に御下賜金 された、この日早朝根據地を登 機の大編版を以て難々しく事行

聖徳街原頭を震

奉天大會戦を彷彿

0

人模擬戦

の轟き雄

宙返り、遊覧、機関、木楽蔵し

の戦闘機三機は芝、上野雨公 上空にて編隊より順れ三機類

機能時代に無理つた西南戦役か 等に重る限取從取記者、鑑家の 等に重る限取從取記者、鑑家の 等に重る限取從取記者、鑑家の 等に重る限取從取記者、鑑家の 等に重る限取從取記者、鑑家の

花が咲いて十一時散会した

て乾飛行士の操縦するシューバー

ムソンの二機が銀翼を春陽にき

銀銭の如く散りを撒いて気

多数の説

したが盛會

ル、称樂飛行

土のサル

行繁五職隊の乙式、八八式兩億 | 午前九時三十分より長者町廣鳴に | 南軍は總司令官稲田中佐指揮の許は十日午前九時半から所澤、下 | 光幡影に燦に輝き渡り砲膨脹は、 にか河に接せられてゐる。攻撃のけふを戦ふ帝都勝眼大飛賞飛行 | 恰もよし、春光は麓しく揺れて劔 | 於で行はれた。磯紫無蔵三萬、聖けふを戦ふ帝都勝眼大飛賞飛行 | 恰もよし、春光は麓しく揺れて劔 | 於で行はれた。磯紫無蔵三萬、聖

行進喇叭 高らかに

忠靈塔に英靈を吊ふ

異に襲をなびかせ城内間近く起立





日本各地名産 荷新 界各國酒 東京風菓子謹製 鹽 000

を交し、同八時代変を織つて思った。 模擬戰 素晴

畵家の招宣

從軍記者や

強きの例技を揮ひ大成功

種に

好天氣にめぐまれて

祝賀氣分横溢の大連市

た十二時より管業協会堂にで官員の残職にて萬歳を三唱して解散して解散し 就被山 賀の

溺れる二少年を 飛込んで救助す 勇敢な二十一の店員

近く大連署から表彰手續

の職僚職などに数美し大平満機動 に冷心を酌み想ひは二十五年前の に冷心を酌み想ひは二十五年前の が応だり耳に回想談や今日 地域の愛摩で「萬哉」を三唱し和 - 橋楽書を贈呈した 日電大戦に走り頭に回想談や今日 しむ可く戦略、神秘がの高値をの他三枚一組の高値を酌み想ひは二十五年前の し本日の陸軍記念日を

の祝慶るならか心がられわた死に遂は日念記軍陸年周五十

の訪問大飛行

市役所は自由参拜、祝賀氣分は全市に漲り散聲に溢れてゐる。講演會―放送の夕べ―街頭および戸每には國旗飜り各官衙、ぶに相應はしく種々の催し物が行はれた。模擬戰―祝賀會―の出露戰爭二十五周年―大連の陸軍記念日は屍山血河の往時を偲

に最左翼闘器注翼で 一軍清水少佐、第四軍島海少佐、 最右翼騎兵底廠は神田少尉とれ 最右翼騎兵底廠は神田少尉とれ で、第四軍島海少佐、第二戦松川少佐。

が趣り開政体散となる、時に同十 この時続監部に劉明たる別外の音

白兵戦に

遺族や癈兵を主賓に

中の市内柳町五三番地土

ユ、六歳の男が背後から怪!

盛んな祝賀會

正午常解小學校で

松尾利作方店賞問題友雄でご君が一次展記で書を加べ大連署に組出たで込み救ひ上げ、直ちに響師を迎て入機会で書を加べ大連署に組出たでは、直ちに響師を迎ている。

を表演した。 ・ 大の東部観察工事から ・ 大の東部観察工事から

步武堂々

中市長等機場に跨がり個人たる電が上海町道路に假装率天城内をしつは一時人域式に移り書

學生の看護隊(下製工の一人)一時兵隊の突撃

大模擬戦

源長、大平 第 四 百 五 十 名 、

『本天神雅十日登』全國にわたり「委員正嗣安員長等は市民を代表し、 「本天神雅十日登』全國にわたり「委員正副安員長等は市民を代表し、 「本天神雅十日登」全國にわたり「委員正副安員長等は市民を代表し、 「本天神雅十日登」全國にわたり「委員正副安員長等は市民を代表し、 「本天神雅十日登」全國にわたり「委員正副安員長等は市民を代表し、 「本天神雅十日登」全國にわたり「委員正副安員長等は市民を代表し、 けふの奉天全市 朝から夜にかけて 盛大な催しものいろり

社會計時スイフ 店理代

等女壁校出徒も参加して荘優たる 兵教後のため日野ましき活躍を から忠國時前で前記部隊の他に高いたの日野ましき活躍をない、正中 は、十一時 中攻防戦を終り、正中

れるの間ボー字の看護師院が美信になるの間ボー字の間が平行されるの間が平行されるの間が一字の看護師の一方で高級より野破路が

人變お安うなりまし 振動不威のハフィス腕時 車の運轉などなさる方には特にお奨めいたし、がられて居ります。それで學生様やスポーツ

マン自動

ます

影を忘れてなるものか」 んなにまで観ひ群ふてるる仁の酸 んなにまで観ひ群ふてるる仁の酸

の砂の建設は一路座敷は、

▲此人つやものに良く「お七吉三」」 でも確かりしたところを動かせ た。全くそつがない。タテの機 た。全くそつがない。タテの機

れたばかり

#:

でも出たか、元気がないな」

急に使れ

大和之丞浪曲大會

大和之丞浪曲大會

會場 歌舞伎座 會場 歌舞伎座

続子をとりあげるお何の手は、

1等 - 圆 =等 八 + 鉄 特等 - 圆 -等 - 圆六+鎖 寶者優待割引券

つそ眠らせといて確め

いきなり構造

4240

發聲映畵

電波響力

べにも似ず、 藤原屋の二階はヒ 殿から流れてくるさんざめきの 鼠から凝れてくるさんざめきお仙の眼は迷しくも光つた。

頭痛しノ

そんなことつてあるもんぢやア

殿りに低々と陥つてゆくらしい。 関節のなると、 臓性は 麻べ熟い

ははしきりと酢をしつづけ乍

をは云へ、まむかひの湯沼屋、とは云へ、まむかひの湯沼屋、いま覧いとは云へ、まむかひの湯沼屋、

ソッと爪立ちしたおば、再び障 急を押してから暗示を興へると 割者は腕つてらなづいた。

ででや大川の夜に耐ふい命を敷ふ つぞや大川の夜に耐ふい命を敷ふ りや、飲たとはおろか可分選びの ないさつきの倒武士」

「どのやうなことがあらうとも気

D 聖氷上祭 在 作年の一月十九日も私はこの祭 では、いまあのすき透るできた米の順に は、いまあのすき透るできた米の順に するが道つてくる。

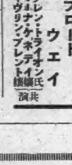
カメラから覗いた北瀬 イブ銜へて かうしたもの」あることを見逃し 山村水太郎 時らしい権ではないか、さゝやか ・ 関安縣・ 典職の花咲く高原、山 ・ 山かろう。 鈴櫃の花咲く高原、山 ・ 山かろう。 鈴櫃の花咲く高原、山 迎る汽車の歩みは大きい。

はのぼのと明ける……。 博克圏から液は明けた。やがて 東安徽に汽車ばかょつた。 大きく繋がく雪のループ、ごと

(F) 大地元次、 大連からハルピンまで来て見ると、明らかに満洲の地形が三つにと、明らかに満洲の地形が三つにといい、ことに会主観あたりとなれば、大きい、ことに会主観あたりとなれば、大きい、ことに会主観あたりを見せる、英端から、ルピンへは郷・松花心を中心と、し全く平原の艦を興へる。だか、足一度びハルピンの四へだか、足一度びハルピンの四へにある。まさにこれ北浦の大平への原理が、東京にこれ北浦の大平への原理が、関係によって、東端から

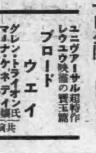
東亜キネマ現代映画 配御無用 0 m





◆賞品は多数に飲き三温 ● では一点である。 ● では、 ● では、 ● では、 ・ では、 、 では、 、

イヴリン・トライオン氏 演 プロード





ラデオ

事の直は被ゆる 事の直は被ゆる 事の直は被ゆる

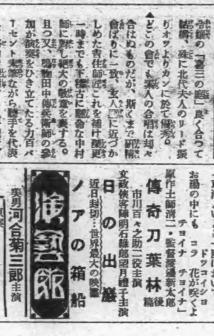
大等の営業の登場

前大宮寺ノ内南入上野春師殿、 神太・愛知縣知多郡阿和町玉屋岩田 即高岡小関物店殿、岡山市西大寺 駅田 即列ケース 五 名 駅田 は 列ケース 五 名





來る十五日に

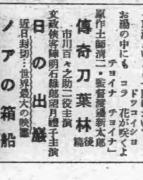


るなく白色にか細メキー

成論科演被山石深島谷土庄田正中石箕 版画谷口北利海祖谷居尻井田中木村田浦 書言しル高麗久る後づ野重代波文真政季 あるのエ子子子治子枝子子子子二子子

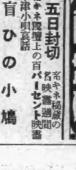
子重が高メデれ代那子子よド子代子子

薫子子及勝明ノ海エ子ノ子



五

名



下 村原宅尾柳村中野田 非原内野巾上 メヤ ステ マキフ 神 端二き ま田 カ 少房ミルをサスミ幸! つ 宴美く春ユ 干子ル子ナー・カノエ子子の文 5 夫子の枝き襟

び側を例至の抽当票のな多本別 数愛今遭り判職の集物ま大中ル も用後をま芳の緒に愛すのの美 まのも申じ名結切今凡力割すし す程引上でを果た同者が好引く った様げに表にへ養待力を本る に到すたす常最祝のリ業さり

曲電流に回公開・電話に二九九三番

盛況を極めた

櫻會の長唄

想御殿置料・・

出来愛えだらう「山路」も悪くない。(総中、最後が良かつた、 「高峡」の曲・村上夫人の力を實施してるた。 「高峡」の曲・村上夫人なか く大きく値被夫人のワキ実故 と共にひきしまつてソッがない と共にひきしまつてソッがない 演主領ロルバ・タイデ 品作智能氏ツルワユシ

籖

名

何連レハコトク 卒まののののの 悪で十 し打大四三三六



出催孔。月若バ

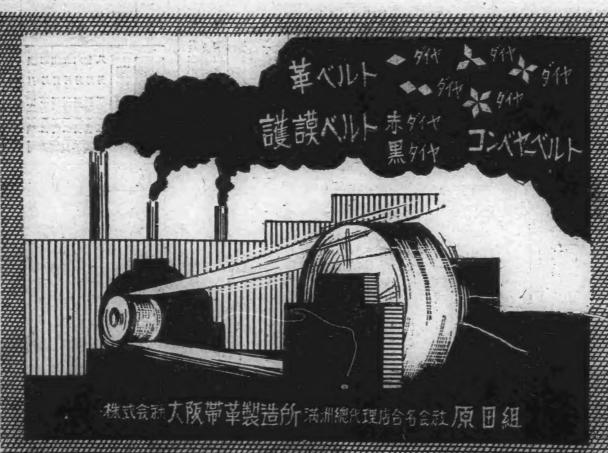
险

はに

クキクヨ番

痕するス 付痛とグ かま膿塗 すずまじ よくなる

四二、用機・一十十一位で開



本等特製美術鏡(一個) 貳千名 五等カガシボマード(一個) 貳千名 カガシボマード(一個) 貳千名







NA HILLOWING

品作念記本千壁

代ケ君 方ひ唄きし正の歌画 光麦藤句

H 間

講習生募集響開始報費

電氣、電波、光紡、チブッション・ 東の利かの周疾でも拾分間以内の應用にて神秘的体数を顕す神極 東の利かの周疾でも拾りにて治る事前合 地獄な強精 1 IN 71

お肉はお電話を頂けば「わり

にわりした」をお仮へ

٤ 美味、美味。軟かくてトテル 意下さいまし。 というとうなられ 花小内 柳兒 病兒 科科科 光

一度御試 P. 25 10四角 三六 。院

分 宿 3

(47

新にした変をポロリおとすと絶 ないたまふ、学説の顔を伏せる臓 だいたまふ、学説の顔を伏せる臓 職成をデ河原

何も知らの職川は盃をとりあげますのさ」

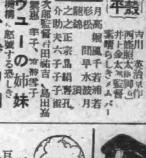
中、暗示をつづける。

「なんの、お山が、眞赤に燃えて」とうした?」

別めきったお他に、

清水二段宮武喜三 ٨ 一太氏臨 時手合門子













三試驗

日本の作品を表現のでは、 一に難し関合せあり、同葉組合には 一に難し関合せあり、同葉組合には 一に難し関合せあり、同葉組合には 一のため埠頭事務所長所長並に対定 でいたがり、同葉組合には

○…吾等の經濟機能に異状

當市保合

五四三

○偽造品あり、影井の名前に御注意

大正三年六月四日本の大正三年六月四日本の大正三年六月四日

一個業組合物合會宛 を、混合保管豆粕不合格品及 を、混合保管豆粕不合格品及 で、この本月一日以降資施 で、この本月一日以降資施

制度の沿革

三郎▲背景安吉▲森革治▲生江東田郡夫▲勝老蝦要▲杉浦幸取引所員

附、奥地混合保管

問題について

今日の比較 創立當時と 大選五品収別がでは十日前場に引機を侵場を立會午前十一時から十機を認識の表現では十日前場に引用がらりません。

五品十三

周年記念

十年勤績者を表彰

けふ午前十一時から擧行

進▲翁海▲劉成治

株價の

豆信会批調査=二月中に於ける大豆市没は医報の如くであるが高梁 豆粕、豆油市没は医報の如くであるが高梁 豆粕、豆油市没は左の如くである

新工会を表して、 一定を表して、 の一定を表して、 の一定を表して、 を表して、 の一定を表して、 の一定を、 の一

特產市況

二月中の

(單位百石)

型四三六 四回回回

(四)

手形交換高

000 P. 1000 P.

六月古日服 合計日服 ▲豆 計

市

况

前月より減少

競争亂賣豫想さる

れがの不然値に比し左の如く뾍高 るる、 目下機器/江ボの 平域値は機 便を出すのではないかと見られて で 談き荷捌け設滞領味に推移した、 もに至った即ち二月中の總路により著しく値頃を低い を示してある、因に本會が異地版 路際折のため實地調査員二班を編 を示してある、因に本會が異地版 路際折のため實地調査員二班を編 を示してある。因に本會が異地版 路際折のため實地調査員二班を編 本 成」滿線沿線吉木公籍領質地方に派 道し調査を行ひたる結果相當新方 面の版路を發見した將來此方面に も需要は促さるべく随て無價調面 と至くの影響を及ぼすものと見ら

上旬對外貿易

入超僅かに四百萬圓

合同 見本市

明十七年五千七百七十七副である 田位園)を示せは左の如く、遊 田十七年五千七百七十七副である 日 三十二萬六百五十九件、原産地置 明十七年五千七百七十七副である 日 三十二萬六百五十九件、原産地置 日 三十二萬六百五十九件、原産地置 日 三十二萬六百五十九件、原産地置 日 三十二萬六百五十九件、原産地置 日 三十二萬六百五十九件、原産地置 日 三十二萬六百五十九件、原産地置 日 三十二萬六百七十七副である 輸出貨物證明

日現在鮮銀券競行高は左の加く

東東美信条公子 第百三十二回興業債券を設行する こととなったが、條件左の如し で、發行額 一千萬四 一、親一事 年六分 、銀行信額 網面通り

高十萬烷に達し手養料收入の高十萬烷に達し手養料收入の高十萬烷に接触の如きも常時に比較すれば一十分の一に整落した五品を筆頭に膨胀共ことごとく整狀を示してゐる、同所とを整理を引力の一に整落した五品を筆頭に膨胀共ことごとくを表してゐる。同所

標金の軟化に



職兄弟の枯骨の上に安住 o de

今定期取引(泉位銀) ◆定期取引(泉位銀) 等付高值 安值 大町 源州 近 交通 交通 交通 交通 交通 源州 近 交通 交通 交通 交通 交通 東高 期近 百四十元萬團 ◆現物取引(単位銀) 十一時 交通 11公童 1913 十一時 交通 11公童 1913 十一時 交通 11公童 1913 十二時 2013 十二時 2013 十二日 11公章 1913 11公章 1913

况(計劃)

凡そ一二週間でけて用ひらるれば其が果腐者なり、其他如何ほど或固の呼吸器疾患のたんせきも

十八日日

8 8

++

を興地に 郷はる 4様なことになり そこに色人の問題が認る機であるを興地に奪はるト様なことになり ・れば左の如し 大正九 現 右能合保管問題に跳し左の決

鍵で荷繰料を要せざる事となれり

東新(衛) **先先**

司雷司富規。

三山田商店株式品

●たんにて常にゴホンゴホンと惱む人 ●が行感冒ょり起るたんせきの人 ●が行感冒ょり起るたんせきの人 ●が病にて常に力なきせき出づる人 ●たん臭氣を帶び時々血の交る人 ● 音聲のかれ又は咽喉のいたむ人 んそくにてゼイゼイ息切する

る人は必ず試みよ





正 全、保勤定)

日本向参清資(編美) 火漁四日本向参清資(編美) 火漁四日本向参清資(編美) 火漁四日本向参清資(編美) 火漁四日本向参清資(編美) と願いる上海(向参清資(編美) 上海(向蒙信資(編))上志の片きコ分本条原向電信資(編美) 三美大分上間、十月預(同)上志の片きコ分本条原向電信資(金蘭定) 三十月頁(同)上志の片きの分支、米原向電信資(金萬)10回南国分(編美) 「二ヶ月買(同)上志の片きの分支、米原向電信資(金萬)10回南国分(編集)「一大衛電信資(金萬)10回南国分(編集)「一大衛電信資(金萬)10回南国分(編集)「一大衛電信資(金萬)10回南国分(一大衛電信資(金萬)10回南国分(一大衛電信資(金萬)10回南国分(一大衛電信)

龍角散一服、効手金! けれどもまだ寒い

月月月月 限限限限 建事業等が200

大豆は惨落

种产豆粕

景気

安値賣物殺到して 空前の出來高 けふの 特產市場振

大連筋、関地筋の機能市場に登では 大連筋、関地筋の関動の機動で を放出し含めに取引・交換を を放出し含めに取引・交換を を放出し含めに取引・交換を を放出し含めに取引・交換を を放出し含めに取引・交換を が之に離似して豆粕、可染の機変して が之に離似して豆粕、更地筋の関かの殺到して が之に離似して豆粕、更地安、更に 大連筋、関地筋の関かの殺到して が之に離似して豆粕、豆油、高粱 五百羅、高粱三百二十人事で四品 全社一千七百九十三車と完前の出 来高を示した

三十銭安、寛新八十銭安、東京短期の町新は同事と教験を報じ、常市五品同事、其の他も一二十銭幅にて保合ふ、出来他も一二十銭を、寛新二十銭安、寛新二十銭安、寛新二十銭安、寛新二十銭安、寛新二十銭安、寛新二十銭安、

物 六一、四○ 六一、三五

印度 麻袋 簡額 音響比 元分音 簡単 音響 比 元分号

銀 NAX枚 17MM 全 報 を 17kk枚 2007年第六日園 全 17kk枚 2007年第六日園 全 報

為替相場行

東京 (本語) (111) 本語 (1

開東 文金 票 受 使 は二十七萬九千週にして標準値段は二十二萬九千週に上岐して受護高二十二萬 が前限に比岐して受護高二十二萬 が前限に比岐して受護高二十二萬 が前限に比岐して受護高二十二萬 が前限に比岐して受護高二十二萬 が前限に比岐して受護高二十二萬 が前限に比岐して受護高二十二萬 である 受護の受渡

東京期 東京期 東京期 新編都 前編引 市場報 前編引 市場 1520

を完全に除く。

「本を完全に除く。

「本を完全に除く。」

「本を完全に除く。

「本を完全に除く。」

「本を完全に除く。

「本を完全に除く。」

「本を完全に除く。」

「本を完全に除く。

「本を完全に除く。」

「本を完全になる」

「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を完全になる」
「本を定さる」
「本を定さるる」
「本を定さるる」
「本を定さるる。」
「本を定さるるる。」
「本を定さるるる。」
「本を定さるるる。」
「本を定さるる。」
「本を定さるるる。」
「本を定さるるる。」
「本を定さるるるる。」
「本を定さるるる。」
「本を定さるるるる

株式が取りは山田へ◆

- en 1

(日曜火)

西南

學院難募

大連商業銀行

西南 會

中西通りが込む

◎高等學部為海等部

〇 中

▲ 第一 學年的

3 2 資書書年解帖和 満の代説墨漢 配を附す。空蹟を網羅し釋文 による 一系統序列 拓により 究と習字 他に比類印刷精巧 能書 合費一時拂 込治金圓

名品神の年 に親めば何人でも必ず能書家になれる。相対からである。此の意味で本全集を繙き古今の出版く古今の名蹟に親むに限る。支那人は字が上い版とは、一生の損だといふ。なるほごと思ふ。書の悪筆は一生の損だといふ。なるほごと思ふ。書の 五毎千古の書聖王羲之を始め東晋士人の法帖 九巻光明皇后時代の眞蹟、唐の宗室の書 X ti 六 ● 奈良時代古金石、 處・歐・褚等初唐の楷書 卷前卷以後、魏、北齊、 卷 吉備眞備、 8 高勾雕、新羅、及び六朝諸碑の粹を萃む ●李北海、張旭、李陽冰、顔眞卿等中唐の諸 傳辦原公任筆北山抄、 最澄、空海、晩唐の諸家 陳隨の諸碑

金金狄王

土二零 嵯峨天皇、橘逸勢、道風、崔致遠、楊凝式 十三卷 傳貫之高野切、傳小野道風秋萩帖等 ∞ 江戸時代、朝鮮、清朝は嘉慶より道光まで 窓 江戸時代初期、清朝は國初より乾隆まで 窓町時代、江戸時代、朝鮮、明朝の諸家 窓 室町時代、江戸時代、朝鮮、明朝の諸家 平安朝末期より鎌倉時代、高麗、北宗、南宗 鎌倉時代より江戸時代に至る假名を網羅 傳佐理、傳行成、傳道長等上代假名の精 和漢書道史、朝鮮書道史、總索引高永より現代、朝鮮、清朝末期より現代を 傳大貳三位端白切等 傳小大君筆香紙切 180版

四番魏隷及び吳の諸碑、 = 参敦煌出土の兩漢木札、 金亀甲獣骨の契文、三代吉金文、李斯刻石 大子學習而字、小 人王學習而字、小 人子學習而字、小 人子學習而字、小 唐劉仁顧紀功碑 第八卷 漢木札、瓦當文、印璽泥封隷書の精髄にる兩漢の刻石 教養哲 禹域出土の眞蹟寫經 一奈良時代・一 京都千字文 百

田村井上田井

天不筌柴鶴

間(イロぐ原)

木湖忠

。いの線す書社で 書と殿藝る道、江 は深堂術。全 強湖

しる

*

た本である。寫真も生きてゐれれは生きた東京を取扱つた生き 石川欣一氏日く。 死線を越 班科內堆十二錢。鮮滿廿一足 價 一 置 八 十 在 一 四 八 上 級 二 た新東

軍

物

發行所

東京舞前

中央公論社

振替口账

◆任羊の脚

洗かす快作 マシアール

ロンドン

此の他珠玉の名篇

いま、 も賣行よき書物 はこれである。 東京で最

・説い生死……・村山知義 ・本が一番美しい時……原料諸名優 ・女が一番美しい時……原米諸名優 ・女が一番美しい時……原料諸名優 ◆陸上蒙技界を語る

·春寒 寒

徳富蘇峰氏日く。

三月二日

東京日々新聞所載

B

まで整み渡らした。されは若し、世界の平和を祈る者あらは、小面倒なる理館や、一一之を讃み來れば、現代の職争さは、如何に解禁、悲惨のものであるかを、腹の

六ケ教教訓や、鹿爪らしき、聖

人臭き官説やよりも、寧ろ此の一冊を贖ましめよ。著

の時代は、日本にとつて被天荒の時代は、日本にとつて被天荒の時代は、日本にとつて被天荒な時代です。果して一九三〇年 ・ | 氏一流の、味ひつ | 大部には、これが | 本誌には、これが | 席山 (安徽人) (美性 該 谷崎潤一郎 內 / 藤井札 牛八翠 光山郎聲功

をいかに見るでありませう

スポオツ新青年

春日俊吉弘

福田雅之助

語 された軍網機器 ……福永志助小田原、ロンド 講座

が復

近づ

埃及文化裏面史四井田 抗 様 ・東 郷 青 見……典さめのする茶飲み話 ・東 郷 青 見……典さめのする茶飲み話 | 世の秘傳の大公開 | 一人比 | 大の魅力。サラリ | 辰野

この自由にして開快なる各國大概生活をい……。中学を終へて新らしく開

を表した、午前九時からお歌呼に 野野記念日は近年になる快晴なる 部野記念日は近年になる快晴なる 部

る 十時十分から工兵艦の地震火爆弾 画 国ち激励占銀の低物を有する攻撃 車は満州紡織会社外近より行動を

ル烈を極めた

遂陽占領模擬戰

東京及び信行社員三百餘名程実者を戦から前兵器の説明あり、正午季戦から前兵器の説明あり、正午季戦から前兵器の説明あり、正午

職し、脱光が、午後二時代より間 ・ 大規模の流動 ・ 大力中 ・ 大力 ・ 大力中 ・ 大力 ・ 大力中 ・ 大力 ・

があり、校園とはしめ保護を同五場代の常況を撮した珍瀬な映画の戦争の開発を撮した珍瀬な映画の映画を開発を構した珍瀬な映画の映画を開いた珍瀬な映画の映画を開いた珍瀬な映画の映画を開いた。

衆を喜ばせ午後六時

解散を兼れた懇親會

正恒低、同職長野村益三氏、第二の運動も一民藩となつたので同日所に於て同會の政務権査無長和田して城を別った、かくて上京委覧は十日平徳二時貴族戦研究館事務で此の問題を研究権職することには十日平徳二時貴族戦研究館事務

祝賀氣分全市に溢る

昨夜滿日放送のタ

大成功裡におはる

講演とは

協和會

館に於ける盛况

上京委員の

大月分の家食を観覧することを把し、 大田長にいては再三再四頭合さ に今回一般市民に獣し顔縁脈止臓 大田長官 大田長官 大田長官

氏が最近ウェナッテの数ではマッファルの爆弾を はまらなければダメルのである。一 はまらなければダメルの はまらなければダメルの はまらなければダメルの はまらなければダメルの はまらなければダメ はまらなければダメ

在郷取人、市民一同統行列を行いませんがあり四時から軍職、小里職・小里職・小里職・小里

十餘名も特に揺かれ極めて意

聴衆の満足を得て

通電後間氏の代理趙凱文氏は霧介、『南京十日設電』曹編山氏の下野

趙氏中央と打合結果

をして責任を 一 央に代つて米配す

石氏の寢返りは 一時的自衛手段か

政府服機を表示し駆州より更に北一の行動を探つたものではないかと、石友三氏が中央政府より百二十萬 返りは一時的方法として中央戦よ【東京十日發電】駅州に侵入せる 上したと保へられるが、石氏の腰

米上院も反對氣勢

舊暦閏六月分の

家賃取立を禁止

吉林の陽曆勵行手段

電車天十日級電 東北交通委員會 き 研究してるたが東三省の現状にでは過数米東三省内螺道網の研究 ては回数資金調整の見込みなきよっては過数米東三省内螺道網完成に伴ひ 数し回数可能の鐵道を固有に置し現在の如く外人に把持されてある 眼次これを他の鐵道に及ぼす試験 をたて此程政権全員會に提出した 無策上不便なりとしこれが回数につ と

戦時協定案に 央國は反對

鐵道政策を確立

米國と五千萬元借款

今夜開催

着、此のため本日北平夏の平東線 より更に北上を織け木日彰徳に到 「一何の目的? 整へ局面の展開を待つてゐるもので河北山西を保有する整備を充分

東京帝國大學助教授

東北交通委員會

可田農相、田中文相のとつたと議會に提出した際民政黨殊、主張の放棄である同の破綻、主張の放棄である同の破綻、主張の放棄である同の職員とのでは政

閻氏外遊後の處置

第三集團軍は高徐兩氏統率

『大阪十日愛電』インド総市順税 整別的引上げ間脈につき十日午後 整別的引上げ間脈につき十日午後 整者大會を開催し 速かに安の撤廢せん事を要望する

之等は 路、間間係に動して和な 青島に向け武器で数を輸送した よると張感良氏は最近素島島となると張感良氏は最近素島島

報に「電を競したのを樹として、背易そ

要職されてゐる

高松宮殿下

共産黨軍が

我が汽船に發砲

昨日發表さる

氏の態度重要視さる

の野心

との反動決議を通過した

山西の地盤確保

和平交渉によって

後職の高松部殿下職員は十日左の

沙市の下流におい

下百世三萬千八百四十八圓六餘 六百廿三萬千八百四十八圓六餘 六百廿三萬千八百四十八圓六餘

一九四〇

九〇六五九〇

急速進展を見ん

は明かであるから之だけでも意識を表現している。 と確認な機能が成方式に関するとと、べしと想象を は概まるだけで打切る事にしても、なく共其の と確認は既にが成方式に関する公式、べしと想象 の事符には

問題は寧る

内部結束が第

であって、また日支親善の事實上であって、また日支親善の事實上をも、財業なる事

を 議院に搬するも打ち削すことの出った。 は を 議院であるから、いはゆる横時 なほどであるから、いはゆる横時 なほどであるから、いはゆる横時 はの行はれたことは、いろくの はい行に表するも打ち削すことの出った。

總選擧後最初の民政黨議員總會で

濱口總裁の演説

する事に意見の一見を見た

は外にはな

政策逐行等につき演説ありて午後 政策遂行等につき演説ありて午後 政策遂行等につき演説ありて午後

より製相官邸に蹴び舎を関き正金 機決適用に伴ふ反派銀行館付方法 機決適用に伴ふ反派銀行館付方法

職會本會職に上程影響する事とな彩として嬢秘観に掲載し十三日の

密接な連絡ある模様で前日節

然氏脈州に来り韓復築、石友三氏等

印度關稅に

十二日委員會

殿山に無墨巌といふべき鐵鰤の埋。るものと新時代の経験的文化お精洲が、撫殿に凝田を有し、立せられる大寒で、秋山製鋼と看送とであらればならぬしんか、實に國策的工業の基礎を提供が構成するものは、何といふこの一個画の製鋼所が設立せ

立せられる大年で、秋山鉄線所ないた。 立せられる大年で、秋山鉄線所ないた。 立せられる大年で、秋山鉄線所ないませられた。 立せられる大年で、秋山鉄線所ないませられた。

昔の襲繍と今日の科製時代の製鎌来ぬ事實である。併しながら、社

愛見せられたといふことは、倜然 | らぬ (つょく) 一年に至り、わが日本人によつて | り大に類を吐くものといはねばなこと、而して倜然にも、明治四十 | 人が鬱山敷線所を以て。世界に際

果各銀行共糸債委員會決定の條件以下關係十一行代表出離協議の結婚を関き正金

海口總裁以下原

山本三土兩氏が

一銭大七厘となる機様である
に依り資金融通を貸すに決したがに依り資金融通を貸すに決したが

糸價補償を攻撃

十日の政友會幹部會

社

說

而して組織内に

新に火を入れ

た

機質に総合せられるのである。

なるものは一面、わが日といへば偶然ならんも、

鞍山新式鎔鑛爐

山、西嶽山の鎌脈を確認し、 それが端緒となりて銀石山、 を成りて銀石山、

があったと言へる。

州烈士統殺直河の部 紫國哥薩克除に捕煙 大学を選げしば

H

圖書や

税關檢查を簡便に

明細書を提出せる

野海軍二等主計生 八日安東

淘汰了る

東鐵白系露人

(朝鮮漢江警祭署長)

人心中原因

父通 デー 國籍職業氏名

から見重の電楽館を開催するこ生職情小學校では十二日午後七 生校音樂會 午後大時からヤマトホテルに開催。 でれ出離者は林總領事、東北競兵

廿五年前の激戦を

如實に再現した

當年の三老勇士が

,特等二圓五十錢、一等二圓、二等 一圓二十錢、 一圓二十錢、一等二圓、二等

永安校の記念講

町の便り

て見たら確な處が判るだ



繭

の仕事は十月に入らねば着手することができぬので丸一ヶ年の損害とことができぬので丸一ヶ年の損害とする無限なる要求をしてゐるのとする無限なる要求をしてゐるのとする無限なる要求をしてゐるのとする無限なる要求をしてゐるのとする無限なる要求をしてゐるのとする無限なる要求をしてゐるのとする無限なる要求をしてゐるのとする無限なる要求をしてゐるのとする。 露支紛争が祟って ことではないとみられてゐる 日露協會

該當者

製氏と協議の上「電響 は之に若代の修正を加 は之に若代の修正を加

延吉籌備處で制定

グ年全く無爲

小逞鮮人跋扈と

小學校は服部中佐、永安小學の同日午後一時より各生徒の内

吉林省政府の許可を得たる無治湖

養兎と養鶏を 社員會で副業に獎勵

日新養州監秘をかしまの内新養州の 中年に比し続一割見當の増加である 中年に比し続一割見當の増加である 中年は常初の出株試験は七十三萬 十萬尺編に減少し其の内新養州の 平年度の

米の調査配館に出席のを質氏のこれがとれて大きに大きないでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

体圏を命じたが、壁校では其の後野二名、体圏二名、体圏は会社の一部を聞るべく八日退野二名、体圏二名、全部四年生)十五日よりの登校は父兄同道で登れている。 群題者取締規定に関して近く別令を置き難に致令された斬薬類中

嚴重取締る 近し新令を公布して

てるた者にとっては大者成であ

麻藥密造賣を

質市生れ當時宮島町鮮人族、一般部を極き切り自殺を企て

の子さへ

供はどう

益

ついては色々様へられて宿中市秀雄でもの自殺す

率天警察署長の新任被建宴は八

に習つて淺間しい人情だ▲八日 一、大田の男の子が客の関かさにウカリ馴れて町から町へ一人で遊かった。本間も夕方になつてヒョであた。本間も夕方になってヒョ 「反獣の方面に進んで

江本開発の主

場、森永、今井、麓口ので、八日午前等海係方面で、八日午前等海係方面で、八日午前等海係方面で、八日午前等海係方面で、八日午前等海係方面で、八日午前等海係方面で、八日午前等海係方面で、八日午前等海係方面で

賈張、于逢春外三名を建れ現北縣地朱立、常開江、常開江、

廿廿二十十八五二十六三日日日日日日日(安開長無營旅

十五日(女) 湖)十五日(女) 湖)十二日(女) 湖)

供はその婦人を見るやではいる婦人 までは何も知らなかつ

工能で 一般の背後地に於ける我軍 工能に就いて」整量は不足 であってがあり、まづ前田豊 た率天大會職

が支入はだしの適品もある

滿洲日報販賣部

の為め來吉目下源在中 ・ の為め來吉目下源在中 ・ の為め來吉目下源在中 ・ の為の來吉目下源在中 ・ の為の來古目下源在中 張主席壽辰 齋藤院長外遊

殿重處分

鮮米懇談會

荷主側の申出で 値下げするか

解船賃問題の對策 長盛期なるが本年は比較的降雪少 もため作業は幾分運延を触れざり たので三月一杯には豫定通りの運 がを紹介する見込である 約七十六七萬尺緒に上るわけであ で本年は東一割見當の増加として 下山元に於ける作業は運材の 下山元に於ける作業は運材の 中山元に於ける作業は運材の

柞蠶發送の

貧困幼兒救濟のため

源陽郵便局に於ける二月中の成績

職が開催されるので選場の石岡地 地域地方事務所の地方係長會

石岡氏赴連

方係長は十日夜行で赴連した

慈善院創設

讀者慰安浪曲大會吉田奈良丸改大和之亟

日の如く炭車の進行を阻止と関り越し集盛的石炭電流と関連の進行を開発を開め、最近は続い、最近は続い、最近は続い、最近は続い、最近は続い、最近は続い、最近は続い、最近は続い、最近は続い、最近は続い、最近は続い、 露天掘の石炭泥棒 炭車を襲撃した一團 張込員が危く阻止

々猖獗を極める 順

英米トラストと飛ど歌峰した変の高く質行き思いために歌がした。原因は近郊にない不況と歌がりでなく上瀬に飲ける太ばかりでなく上瀬に於ける太ばかりでなく上瀬に於ける太ばかりでなく上瀬に於ける太ばかりでなく上瀬に於ける太 競々としてゐると

人を一掃する演繹で三

質店を製ふ

九、提査完了後は其情况を該管長 官より鎮守使署並に市政縣備處 に額報すべし ・ 各務區は今回の捜査後外來縣 ・ 人あらば該管警察より注意内値 ・ 大心 ・ 各種戸は捜査登配を纒たる ・ 後外來不相繼の輸入を滯在せし ・ むることを得ず、親友を留宿せ ・ しむる時は警察に報告すべし

馬城團跳梁

辨天堂主風呂崎 帯美源町二五電式六へへ

八日西公太堡へ

· 八日過率歸任

鄉班事母堂及夫人 八甲夜計連

八日西公太堡

等足の編む個方標

後二十瓩位迄成長すれば減接降院

赤十字社の

郵便局業績

地方係長會議 関係で毎時線延となって實現に発 数年前より所當局に於て酸え機器 数年前より所當局に於て酸え機器 で毎時線延となって實現に至

新義州の 公會堂增築 次第に有望

大相 二、一五〇斤 一相 二、一五〇斤 一根 二、一五〇斤 一五〇斤

んで喜んだのは英國だ、忌 他で喜んだのは英國だ、之が即ち 他苦笑にまぎらしながら 他苦笑にまぎらしながら からながらながら

使はぬ法

瞬に坐つて用たモロー

のアスター腺初め一同のアスター腺初め一同

戦係的の思

職の組合が出来である。 此の 地の 組合が出来である。 此の る、 地の る、

を受けると思ふ、郷野君の化。 野力を要すると思ふ、郷野君の化。 の変響にあるので今一既の

老來益々旺な

ショウ翁の毒舌

職は英、米南國間の配野に定つ 「何ね、第二のジュットランド海 「何ねであれたのがモロー全極

職職を建造したがいい」

內科專門

『お次は英米戦争に定つてる』

各國全權を煙に捲く

であるからだ、わしは米峡の野のいいことは大きの海峡の距離 のいいことは大きの海峡の距離 を二十里から十五里に絨毯し大

それから話頭は螺じて赤い圏ロー を始めっ でものをが、アスター夫人テクトに及んだ、アスター夫人テクトに及んだ、アスター夫人テクー なったらどんた目に遭つてるでせられる。 たわしとは疾つくの背に洩いさんとわしとは疾つくの背に別れてままって、疾つくの背に別れてままった。

さ 洋か 館で食いり 打ち好い さ

大部門に分けてある。

世界的に有機化學の研究は行語りならぬ時期に連過してある、各國大方との時期に連過してある、各國はなかつた、總ての有機化學の研究は行語りはなかつた、總での有機化學の研究は行語りなり、

三位

なり、今日まで纏いて實施せられてり、今日まで纏いて實施である。 形式の数つた組織である。 あり、形式の数つた組織である。 おり、形式の数つた組織である。

ペルピン特信』過数入十六待 避難に一時抑留された東大理科 就受近藤博士と大連化學薬品保 大倉祉に関係のある大阪製養會 社の襲動社長は去る四日午前十 社の襲動社長は去る四日午前十 社の襲動社長は去る四日午前十 社の襲動社長は去る四日午前十 社の場所が発事域境を通過し着 いろ有機化學の研究のため昨年 れる有機化學の研究のため昨年 れる有機化學の研究のため昨年

創設の

組合國家

ム首相が

産業團體が結束協調

勞資調

でこれを英語で『コルポラテープら編み出されたのが「組合履家』

有機化學界は

世界的行詰

産業合理化ご弊害

近藤博士の視察談

性へたがそれは臭酸的にど のなるの和駅エソリーニ、 であるの和駅エソリーニ、

第二級の工人がある。これも一般 第二級の工人がある。これも一般 音な際事業の発動者は迷洋の定む る所に從ひ別に組合を結構し、普 る所に從ひ別に組合を結構し、普 をいってある文官東 の定む 百名の選挙にもその候補者はこれなってゐる

である。ストライトといふの を変力に協力せしめやうといふの を変力に協力せしめやうといふの なのよいである。ストライトといるの はである。ストライトといるの はである。ストライトといるの はながある。ストライトといるの はないる。 定した原理は発達の設理を辨査双定した原理は発達の設理を辨査双

(四)

立國の基礎 では、 は、 ないでは、 ないでは、

を如何にして「戦後しやうかと焦く の合理化を能行する前にその終的 の合理化を能行する前にその終的 を充分研究した上で實施するのが よいだらうと数へられた――ベル リン駐在の商務官も同様の意見で あつた、ドイツも背の画影はたく を如何にして転換しやうかと焦躁を如何にして転換しやうかと焦躁を知べしこの総合

ます

毛5太

黑髪は女の生命

を

をいったが、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでである。このでは、またいでである。このでは、またいでは、また

染毛赤

選方の人は手紙で「無有の全候法」 を記述した響物を送れと御事込下 を記述した響物を送れと御事込下

▼全國 有名

樂館にあり

家庭療器マグネーター 磁氣透熱マグネーター 難病快癒の霊器

大連案内所でも御利用下さい

但定

一般観 小五十銭

をダン化に鉄電 婦人病・血摩亢症、層の機能病、肺炎、智息、動性療法、原病炎、関係、血摩亢症、原の機能、不管療験、不管療験、不管療験、不管療験、不管療験、

いふ見地から之 建築であるのと 說 明 書進呈

変に 大きのか一切外來者の意識を い うしたものか一切外來者の意識を い うしたものか一切外來者の意識を と元來英國の化融號品は歐洲大戦は と元來英國の化融號品は歐洲大戦は が十餘ケ所を脚塞したが、米國は 工場其他いづれをみても大規模組 工場其他いづれをみても大規模組 るものを興港してゐるかと見ればない、然しそれ等の工場が如何な 歴作戦略氏の解析を主要する批覧 事が多いといふ理由で明年度に延 期することになり、城内の二名所 は一年間高命を延ばすことになり は一年間高命を延ばする批覧 は一年間高命を延ばする批覧 は一年間高命を延ばする批覧 は一年間高命を延ばする批覧

が自給自足の必要上一切外來者のが自給自足の必要上一切外來者の 場を意識したいと大使館に殴った のでないかと思ふ、化感薬品のエ

三六四六十

生安心なるニー求職募

櫻井内科醫

ロミック石蔵 で、日本料蔵的研究 に、日本料蔵的研究 に当しつへある主要 に当しつへある主要

お子様ケ 達。イ 0 膚で 売。 洗れ 3 すい 12 发力

使へる石鹼

る \$ 分 で 7 安心 1 Lon LA

\$ Lo'

いならなに債権が債職 知何程楽賞であつても、その品がなくなければ、器用者にと

いなはて質要もで債高

野の脱に終熱の数、それは如何に御場人の容姿を引きてと悪く難じく知高く被かしく上品に化粧美を完しら毛、感主楽、君が代は如何たるしらが、恋毛、とも毛でも使かに三十分で見惚れる程の無燥となる。 「世形人の身職として君が代の常用をお髪め致します。 「世形人の身職として君が代の常用をお髪め致します。」 商 店 SELLY. 7 三星特製 三星特製 洋生菓子 三星食料品店 東部 二一三二一 掛地 中央公園亦樂門停留所前 今村春说

Ili

吉

東 京 0 丸見屋商

3.19

高い上の方に見

一杯入った影が五つ

って行っても縁一人としてある

たら指角的めたお金も一文なしもう少し部廷の知らせが遅かつ

うな方法を以てすれば客は つて、特別の指導をうけ-

祭門家の下にや

養教育問題研究公三月號)

つてゐる(宮質は日曜日の

H

次の日は腹部をの次の日は腹部を を延ばします、此の春先は日光浴 を延ばします、此の春先は日光浴

李節時刻及身體の

古い

魚介類は

往々中毒を起す

新鮮度はこう

南面を開放へした窓

する事はよい事です

面を閉ざし

はラードでいためておき、かにははラードでいためておき、かには 調理——先 油川学、黒小匙二杯

そ に来るのは往々にして関比したも が、支那人などが難に入れて費り が、支那人などが難に入れて費り いものがあるから質ふ時に

尾にも弾力性のあるものでなけれ **蟹類は** 嘘いものは古いもいけない

教育の理想郷

して見分ける 電は四月軍章魚は五月軍が産期期 五月が至八月、蝦は五月――七月 東京のは有罪である、即ちかきは であり同時に此の頃には味も劣る

対 思ふ……君の枝長前放先生は、私の長も敵賊する教育家の一人でする。 真でも総様です、書いて頂きたい 真でも総様です、書いて頂きたい と思つて居ります、芸品既健野 の一つとして、是非お願ひしたい のです、どうか君からも特に頼ん

伊勢町八九元七七七二・九四八四

町 山形洋行 電台 五八六八 日支英米專賣特許

町二三 谷澤 電六六六二 港修理技術本位

邦文 タイピスト短期奏成

牛乳 大連牛乳株式會社

ラデオは何でも大勉強

泉連町一丁月貫通 日露洋行

前二 旭内 電人士

電人六七五

で下さい……補別へも一度ぞきたい。 高速、朝戦へは行つたが、補別へは昨年夏行く管になって居て別へは年に追はれて志望を果すこ とが出來なかった。今年は是非常 談は覆きなかつたが電車の都合たいものです……」 朝鮮へは行ったが、諸

新書の「久邃の女性」を頂いて。

「玉川學園」を訪ふ

奉天教專附屬主事

畑中幸之輔

らが子そつくり がに関戦の美か

心員、納地固定給支給

朝日殿場に

西品 祭物業債券公債復 西通三五電車通 大連案内社 西通三五電車通 大連案内社 要せずとも如何なる飼材 で得五五五七 正直洋行

三番地の五 永島電二一六七八三番地の五 永島電二一六七八

習字 三河町池内

大連市磐城町五八 南海堂 眉山 大連市磐城町五八 南海堂 眉山

四ツ辻

辻 香川爾店 電六七五一品特別 高値 買受

進見

を 胎日前人未 強います大連吉野 ではます大連吉野

門事

女合 さん至急へ年相常優遇する人本人来談

女給 入用 本人来談 山縣通 サッポロカフエー 電穴七〇五 サッポロカフエー 電穴七〇五 サッポロカフエー 電穴七〇五

信用 大口小口迅速金融 電話七八八一番 電話七八八一番 電話七八八一番 電話七八八一番 電話七八八一番

選犬 頭百圓より云

電話 商品祭

活在战性,回金观给缓缓

貸衣 暴騰問

利益をかひや



港。一元四話章

藏助中田·師剤藥

大連市浪速町一丁目 器器器

題方調剤 洋堂梁局 藥剂師··友田莞爾 電話.6243 香

二尺刨瀉信市迪大

は際いたので能とは吃驚しました。 とて能をが繋が付いた時、自分 して能をが繋が付いた時、自分

高粱

其臓へ起って行きました。 りが見えます、態廷は大阪びで りが見えます、態廷は大阪びで 遠山憲 か、其處は地主の金融だつたのと、何と不思議ぢやありません 吉

部のしつかりしてゐるもの、 題の 悪臭を持つてゐる。 次に蝦蜒は 戦 正補とは地主の名です。誰も居

地主はびつくりしました。何故地主に知らせてやつたのです。 地主はびつくりしました。何故地主はびつくりしました。何故 人もないのです、けれども簡延

慶園陽係者はいづれも超人的な勢。の四月にはじめたばかりですが、 そして金貨の入つた壁を聞べて 信をきめて、電標を緩けることに しました……大概の設設には、少数の優良教授を手厚く恥して、二 つ三つの講座を乗ねしめ、又東京 その他から時々必要な問題には、少 変を表して置い、又場合に で連続講義をして置い、又場合に 東や館の容wをされても困ります。 動がゆるむ魔があるし、それに、 動がゆるむ魔があるし、それに、 を置ってもなります。 道は必ず聞かれると、再び問いからネ……それで最後まで行か

のパリーの流行、モ

新刊兒童教育曹紹介

た、雌鼬日くそりや聞えませぬ内に於ける吐鼬の捕獲を繋止し内に於ける吐鼬の捕獲を繋止し

電五五五七番 電五五五七番 電五五五七番 電五五五七番 電五五五七番 電五五五七番

鶴見 個科解記

| 大連二葉町六〇| 電話四六ル二 番

療治御好みの方は

市品 等で直洋行へ 四通常標標際子山閣電四三六二 の通常標標等子山閣電四三六二 州能要角 自修寮 電二一六六年 総食営其他完備山城町 郷房

日本 スグ川来ます ファースグ川来ます 原需電八四七一 東京 原常電八四七一 ター印書 アンライター印書 アンライター印書 アンティター アンディター アンディスグ アンディスグ アンディスグ アンディスグ アンディスグ アンディスグ アンディスグ 川来ます アンディスグ アング アンディスグ アンティスグ アンディスグ の御用金は

個馬町 泰三商合 報じれ九三 総木丈太郎 電話四六九二 鈴木丈太郎 電話四六九二 鈴木丈太郎 電話四六九二 ・ メの早い ・ オート ・ オート

あま酒 1升三十五版 おま酒 1升三十五版 片間 花店 実話三六二 4

トヤマ南舎 電人と131名 を撮影及現像焼付引延し 電話コーエル人をへ 大連市吉野町ニ五 野中醫院 性病。雖不在

洋服頻高貧

間中場度西·機能常・通西連大 春八二五七話電

E

信五三九回禮 检带二〇一通月 五三六回禮 號北 世級有可滑信

めてゆく、そして長い多の転締の中に唇を瞳れてゐた人々は暖息づく春の陽光が驚く輝きを増して執拗な多も日一日と影をひ 機分高い程度を良しとします。ておいて飲かくなりましたら悪を 風田の温度◇ は微温 のまっでも総構、樹茸は湯に浸し 春は忍びよる

の間しまつて置いた整営の有りつたけを出して子供の御氣轍をとがパラスの小便を織つてゆく足どりも軽い、金緞の中の猿公は冬 されてゆくのだ、此の頃の電響遊園はこれらの人々で脳やかだ、脚光の口づけを求めて受ひ寄せられるやうに屋外へ屋外へと影響 お父さんやお母さんだちに手をひかれる坊つちやんや顔つちやん はプトマイン中毒とこってはげしいものは死亡し、悪いものは死亡し、悪いものはじん。こで魚や曳類は出来る丈け新鮮なものを食べる必要があるが、それを見分けるには夫のやうな既に注からない。即ち先づ寒一に悪ならば鯉の色が鱗かった。 も輝きがあつてびつたりくつ付いがなければいけない。そして瞬に たべると最も中間しやすく、それ 無介類 の際地 の隣接したものを が、畏能する先輩であり、特に種 小原氏も銅直氏も私の同窓であ

にあまる程あります……資金の調ぎみもあるが、愉快もそれを假ふ来上りました……その間に種々な

力をしてくれるので、こんなに出

脚地域である。 社棚の新能なもの トール、アンモニアの有るものは トール、アンモニアの有るものは さ、それはアンモニヤの發生のた ものは膨胀に強いてゐる酸性であ ものは膨胀に強いてゐる酸性であ 指で整へて見てす 久濶を謝するの意味もあつて、訪ら、大世話になつた人々であるので、 な月が鯨のやりに機たはる丘の上 離つて來ると、ちようど赤い大き はない大き 計議を聞いたのであった。 なやみと愉快さと、そして特定の なやみと愉快さと、そして特定の に対象の御軸走になつて、生みの る壁雕の変を見、蓝脂では小原氏では銅直氏に窓内せられて完成せ れて行ったのである。そして成城の人間を謝するの意味もあつて、訪 関へ着いて、一般生に導かれて、計談を聞いたのであつた。玉川県 に夕食の御馳走になって、

部分を指で

手と顔とでやつたのである。去年等と顔とでやつたのである。去年 「……土地の選定から、道路のためであった。

不景氣は悪魔だけを大目には見て違にはなかし、なさまされますの くれませぬ。昨夜も幹部が集まつくれませぬ。昨夜も幹部が集まつ 金を出してやらうかとい

はアナク

死亡した幼児が兵庫縣にあつたて翻画した鏡板の湯を飲まんとし 子を持つお母さん方御用心

ロニズムだ

、モポロくそれ

婚人のスカートが二寸下り除す

りであるといぶ説を製表したりであるといぶ説を製表したりで人猿同嗣は誤りてメリカ自然科楽博物館長へソアメリカ自然科楽博物館長へソ

なつて手腕が出来なくなるとい ふ多数不可思識な思者が愛知路 大で手術を受けた

塊が飛び出しる

れがローばいに





牛乳

印書の「邦文献文ダイブライタ

五球

ラヂ オは何では

備品の電品たる

流質品 安奏·

歴康を増進する

モウ

大チャン

(可以汤逊解殖三部)。

を知らぬ人が多い 日光の醫療的効果

を 家庭風呂でもさうですが多数の人 の入浴する洗湯では長く場情に入 つてゐない事、そして食事直前又 は直後に入ることは避ければなり ません、倘入浴後窓を閉め切つた っません、倘入浴後窓を閉め切つた

級に入れて火にかけ監測コーチと を で居りますが充分味が出ます)を で居りますが充分味が出ます)を 後取り出し叉片面を焼き、 機関のスープ二合(スープとして) くやけたら丼に遥かい中に次のソ 簡に測した布片をひいた上になら 分間むして ソースは

五

時は書の和らかい日射しを浴び得 一大きくなり、血液の循環が良くな 大きくなり、血液の循環が良くな 大きくなり、血液の循環が良くな 大きくなり、血液の循環が良くな 大きくなり、血液の循環が良くな がある。

中些一杯の勘を水でといて、どろ中些一杯の勘を水でといて、どろ 上にかけるのです

これもせん切りにしておきます。 となかきまぜ、厚さ三分が観響、衛大といで入れ、大と一杯の墓物を水でといで入れ、大といかきまぜ、厚さ三分様型一式、大きのの名を開発にまるめて、茶

日光浴とえ

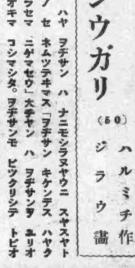
Δ

マフタコトヲ デマネテ・大チャ ハク オニゲナサイ」 チムル ハ

大チヤン







* ウ チ 畵

京市小石川區雅司ケ谷理科敦の話、一選科考査の農理と結

不用 品級切木位置登 イワ中町 第古葉 電七四三五

家天浪団通り ・ 一キードカメラ、一

大連市浪運町持田順天堂 国二百一番

電話ナナラサン大連西浦九三常殿権近の大地西浦九三常殿権近の大学院 実確

地番工工通部监







頭痛。

く女の味である。しかも速を 膝の外から聞えて来たのはまさ

首の周圍に赤い手巾を巻きつけて女は黒っぽい衣服に身を包んで

おかねはゐないのし

るるの

新華東部の事件のあった夜、微事を上げの事件のあった夜、微事を上げの事件のあった夜、微事を出る。 一の異の先から成瀬珊瑚を奪って行った山者——

が、その途咙、何んといふ不覧

鼻袋の中が

機事は思はず生脈をごくり

おかれ、おかねはるないのし

も、機事はある重要な概を見てとかった。然し、その値かな瞬間に

それを見ると、機事は素速く灯

と、張つと息を殺して待ち構へて女が自ら部屋の灯をつけはせぬか

繋つた。が、生情な事には、向ふ中からマッチを取出すと、それを

羅紗小倉厚電手現金卸電

芦洋

女は何も気がつかぬの彼女は懐

見るから春らしい

感じのする

切らずやかずに根子的ふ

四月一日

新學期開始

肛門藥商會

定價七日分貳円。

十五日分四円

参りました で

满

伊藤幾久造畵

く咲らくさ 名

簡単に片づけては

又一向さ は强ひの

うない

のみのコバタ

方にや商賣離れ 使ふ

可しッ

を云ふて しい方に

スモカ 歯の美 賣じや

いかに商

國語

風は萬病の源です。

とんでもない間違ひ

の國

正史作

(35)

(六)

野田検事はハッとして連を見廻し 表から聞えて來た口笛の音に、 見渡したところ、狭い部屋がたの策が置つて来たのか、それとも いてある。卓子の上には多か牛松った一ツきり、卓子が一ツに、押

ながら、蛭田歳事は、何處が隠れ く約束して置きなが

實効散をのんで

おなほしなさい

窓したやうに、厚の側で立止まつ が浮び出してゐる。彼女は、當 が浮び出してゐる。彼女は、當 まだ來てゐないのかしら… 比處へやつて來たのだ。一世、どこの女は今、牛松に逢ふために その言葉に鋭く蛭田機事の耳に さう味きながら彼女は二三歩、 「まあ、眞暗で、何も見えやし

つ特 ね熟

1. 質効散は ので信用ある薬店で 去り風乳氣をなほす

と言ふています は一番よく変れる楽

私しゃ備前の岡山生

肺病、

何 定 ***-***

智典数本館

新 研 天 然 堂 東京市岬川美男美子

だっまうち出血ちの海にいはち、きれち、ちろう、

浴

旅溫 樂しい遊び場所です

類が、助膜には 大連市 受町 佐

日下協科殴門院

大連北偏子三大連北偏子三

金網體商

ーシン!

7

毛皮鞋、染色、

凡ての目的に使用する如何なる網でも御 発験を有するは弊店が満洲唯一の店で有 経験を有するは弊店が満洲唯一の店で有 がます何卒多少に不拘御用命下さいます 様御願します。 西 西村 商會

在庫豊富多少に拘らず御名種スーパーヒー 石綿製各種 御用命願ま 2 突グ式グ

ツ

電話一夏三人が大器地大連市条町十五番地

海上、運送。自動車 險

三井物産株式會社

電話代表セーの一番地大連市山縣通一八二番地

鼻腔内分泌腺を調節し 御申越次第送呈 収 大阪愛舗規定御申越大绑品上ミツワ石鹼 本舗 東京 九見殿商店

ド 新エセツクス等

日華自動車學校

氣分をも明るく、而して、記憶力をも強める

鼻病液

柳崩を殺すなど、

鼻病に確實なる効あり

を痛を鎖ゆ、

腫脹を去り、出血を止め、

且消炎作用あるを以て

婦人の病に婦人 人の手で

候症應適 閉塞 閉塞、鼻充血、鼻出血 臭鼻症、鼻粘膜腫脹 開選者



様教育に律動遊戲講

1の一望でピストル自殺を闘った 青年があった、原籍愛知縣知多粒 大野村市内山縣通六七四郷器商二 東京でピストル自殺を闘った。

主人に叱買されたのを苦に病みて、それまで二階のホールでピールを家出したが、十日午後四時頃同人、一部に入り縁く持つてゐたピストル東でゐると知らせを聞いた親友ので自殺を企てた、晋に驚いて友人東であると知らせを聞いた親友ので自殺を企てた、晋に驚いて友人を持つてゐたピストル東であると知らせを聞いた親友ので自殺を企てた、晋に驚いて友人を持つてゐたピストルを主人に叱買されたのを苦に病みて、それまで二階のホールでピールを主人に叱買されたのを苦に病みて、それまで二階のホールでピールを主人に叱買されたのを苦に病みて、

揮發油にて瓦斯を發生せしめた

原木燒失

カフエーの一室で

青年が覺悟の自殺

頭部にピストルを二發射ち込む

原因はわからない

無残の焼死

原因は瓦斯の爆發

おける椿事

『東城特里十日記』 一般の記者を表するに方り麒場なき貫め 海軍の記者庫内にて軍事活開日風 の記者庫内にて軍事活開日風 の記者庫内にて軍事活開日風 の記者庫内にて軍事活開日風 の記者庫内にて軍事活開日風 の記者庫内にて軍事活開日風 生徒百四名 うちに大火事とな

虚偽の中告 乘船客數

場人會主催で十二日午後零時半より日之出町母の仕事會に於て「離と映画の見方」と離する場響は前日の見方」と離する場響は前日の見方」と離する場響は前日の見方」と離する場響は前日の見方」と解する場響はある。一般多数婦人の来継を観迎する。 5

締る必要上収竣デ告銀するところ 告をなすものに對しては今後も収 告をなすものに對しては今後も収 があるためそれ以上を複載する事 制には定域がないため最近は出來 動には定域がないため最近は出來 を関係に當地海勞局競技官は大意で その中には申告の數を誤職化する のあり非常に困らされてある、十 のあり非常に困らされてある、十 のあり非常に困らされてある、十 のあり非常に困らされてある、十 稱してゐたが嫩矮官が直に調査すは最初千百九十二名積んで來たと

失穏の果か

観え脳で顔を興青に階下で小さ

生質の明るい無邪氣なこの國際を 食に難し水上を飲は金銭を悪んで 食に難し水上を飲は金銭を悪んで

紫曜田して戦血は薄暗い電燈の下 二川商店の主人は驚いて を射ち込んだところで朔丸は同人 一川商店主談を射ち込んだところで朔丸は同人

使込はない

は直に保践が馳せつけは成したが現はレターペーパーに売り響きでではしまり、一ペーパーに売り響きで 然に絶命した(宮属は堤京造) 病院に捜ぎ込まれたが、午後九時 病院に捜ぎ込まれたが、午後九時 何等死因となるやうなことはすまりといふ意味のもので他 流浪の旅を

額ける孤兄 鮮人辿りつく メキシコ生れの

一天晴なコスモポリタンとして洗りの水上製造に日を見張らせた鮮然以下不詳な 生れはメキシコユカタン州メリルで父を失つた少年駆戦得にしは、こ畿の時に母に死に別れ八年で父を失つた少年駆戦得にしば、 一日より三日間限

入浴中失敬

機されてある験薬俱樂部では十層住の明治大學出身者によつて

で、車夫調果が女コーと外に行へ車夫調果が女コーと外に

第 二囘

フラワーリリ

窃盗を働く

人質から足が

は史歴〈輝』る語を用信

下式動曲装置を新設し燃料部総に襲する可聞を出來るだけ短轍して急行便の實を挙げる事となつて居事となった、此総製、賴東京を立てば其日の午後三時態には京城に着ける職で中間飛行場にはスタン絡飛行を行ふべくダイヤグラムを研究中であつたが総々東京京城間上下線共一日職路直通飛行を行ふ終飛行を行ふべくダイヤグラムを研究中であつたが総々東京京城間上下線共一日職路直通飛行を行ふれて東京京城間、大阪大連即一日職工事度、大阪大連即一日職工事度、大阪大連即一日職工事度、大阪大連即一日職工事度、大阪大連即一日職工事度、

その日の中に着く

京城東京間一日聯絡飛行と共に

來月一

日から始める

評細な時間側は近く決定の筈である

八月下旬に

満洲最初の試みなる

リレーカーニバル

会及び大毎に於て能され年々好即会を出し斯県に質献して居るもの 線を出し斯県に質献して居るもの

第十七回 第九次 十六番 十九番第二十八回第三次 五十六番 第二十八回第三次 五十六番 第二十八四第三次 五十六番 概販賣して居ります。似せ物有。網端の積線離に御光津親切水小賣行商の狭父屋さんか。類切を吳閣議さんで大 檳榔紬さはざんな織物?近頃評典のご覧了すり 行 尚スローウシチョ店は哈爾賓に十人ヶ年も存録し多大の信用と大勉强致ますから何卒御引立の程願上ます婦人ドレス、毛布其他豐富に取揃べ値段もしました婦人、子供服の春衣外套、洋服、哈爾賓スローウシチ商店支店を愈々開設致 堅牢無比、在庫豐富 Keep Smiling with Kellys ウシチ商店

戀

5

地

獄

(66)

はせぬであらうと推了したに相連なかった。 んだぞべったいものがはいっていてあって、その下に反古紙で 何を取り上げて、

新刊紹介を

院長 ジンボ 近常 一族

重話五四六九番 近藤寛次郎



何と言ひ置いて立つつもりだね」と、常川が艶ねた。 べき事だが……僕は決して禁風が ましいことは言はんが

その書類といふのは何

备00

X外內



だか、飲食のとりをやわらげる特殊作用がある。酸性のむと目に見えてのきょめがありのむと目に見えてのきょめがありのむと目に見えている。なくなり、飲食のとりをやわらげる特殊には、なり、飲食のとりをやわらげる特殊には、なり、飲食のとりをやわらげる特殊には、なり、飲食のは、食物を食べる。

リウマチス 一度 神 侯 温しをいを 職ぜずを動に関す人は 頭い 戦いを 職ぜずを 別に よくきく 大評戦の でもの が いる が をよくし 別談を 歌ばる たる は あんだ をよくし 別談を 歌ばる になり、 ぬ 行 をよくし 別談を歌る

の時、萬事打合せが濟んでゐるのれた。まして、岸北は丘に先日ウ 「え」、丘さんも御承知の上ならば「え」、それではお預りを願ひま

ない。 ない、 でしかし僕は後がこの中に何を書い がくしに性め、かくしの歌のボタ がくしに性め、かくしの歌のボタ れは聞いてはならぬものなのだ。 配三は本程を元の通りにした● をかけた。

にいていると、 でいると何有つておいでよした」 をうにと何有つておいでよした」 と、 、 いでは含を押すやうに言っ と、 いでは含を押すやうに言っ と、 になるを押すやうに言っ と、 になるを押すやうに言っ と、 になるを押すやうに言っ のだ。丘ヶ庭りで死てぬ場り、「解ってるる――これは丘の命な 上於莵 跋〉(新華州桑町月海

使公

赤を除 早く染つて

日本賣藥株式會社 滿洲總代理店



四知名の栗店にあり。

政策元



壓弱

須藤野県博士 CESD

たること少からず。 たること少からず。 たんりて "被妻の目的を選せしめること別し"ボリタミンを用ひしむること 験得質" 阿後衰弱其他一般重弱兄に 質量し身神強弱な方に用ひて、産後の質量特に分娩後永らく 北井醫學博士(東京O 田川藤奉博士(示)

があるべきを信す。 があるべきを信す。 小田醫學博士(大阪)

· 果見るべきものあり。 の恢復期患者に處方せるに効 諸種の妄端性疾患及び慢性病 恢復期等に試みその經過の可樂養不良、体質稼働、病後の 大野醫學博士(大阪) **学博士 (3)**

養滋血補

できる各種のアミノ機を豊富に含有して店 る点である。加之。 一般に消化機能の 一般に消化機能の 一般に消化機能の 一般に消化機能の 一般に消化機能の 一般に消化機能の 一般に消化機能の ボリタモンの最も を物であつて且つ生 体に必要缺くべから ならるもものは動物 費の効果を奏する●



アシッラュジ 賣販賦々月ケ十 器械の完全なる 配入し來る惧れを ジュラッシア 所込申爾道、 蕃音器

工業會社製 **軒滿總代理店** 合株杜式 進和

地下室食 營省

沖本プリキ店 山上なき場所でありますから何本領心比上なき場所であります。 闘門を住復せられる時にして標準的なるは、充實せる内容と 卜板

が 耐流大連支店

珍味の中心扶桑仙館 大連芝罘間命令定期船 大連河景間命令定期船 大連加賀町三〇 大連加賀町三〇 大連加賀町三〇

ポリタモンは取る を強刺又は蛋白製剤でなく近代替化學に まくアモノ酸製剤で その効果の傑出せる は左の親文にみて関

人氣の焦點……連鎖街

X X X X

船大連出帆

船級有限公司 ●歐洲行[上海、香港] 一下建立湖江[上海、香港] 一下建立湖江[東州丸]三月十六日 「東湖 (東田県) (東田) (東田県) (東田県) (東田県) (東田) (東田県) (東田 の大連汽船 川日本郵瓜 ・京風船客 ーリスト



◎日光の感受不足は疾患の根源となる ◎日光を科學的に應用し種々の疾患が治る ◇内地では大阪、京神地方を中心に ◇内地では大阪、京神地方を中心に ◇内地では大阪、京神地方を中心に 光線

太

式入火爐鐮

電氣事業

日本側の工事を妨

然が種々な形式で勃

しつゝあるが、安東市政公野で強て計

内·鮮直通飛行

九日二十時三十分酸列車で大平職で数明に成功した此等の案件を搬へ

長指揮のもとに観歌研究中である

施別の製出、ペラフィールから 無順研究所では最近メールから が、モール約より優美な が、モール約より優美な は、モール約より優美な

要求に勝ずべきである。

年前の華國一致の精神を以て、

以で新時代の 新华地、二十五

時代は進む、文化は展

けふ立川飛行場出發

■3日本航空機会会立川出設八時五十九分大阪潜九時変で、小川独行土爆機経験で乗組航空業と、小川独行土爆機経験で乗組航空業と、小川独行土爆機経験で乗組航空業と、小川独行土爆機と、小川独行土爆機と、小川独行土爆機と、小川独行土場と、小川独行土場と、小川独行土場と、小川独行土場と、小川独行出と、小川、田田、と、小川、田田、と、小川、田田、と、小川、田田、と、小川、田田、と、小川、田田、と、小川、田田、と、小川、田田、と、小川、田田、と、小川、田、

到しては現在何社が城内に有

鎔新山鞍のふの

スカのが支那の主張である、然し其 との時に消滅したものであると云 定の時に消滅したものであると云

即日設会された 関日設会された 関日設会された

大藏省異動

大被省銀行局長 保倉惠三郎

製品を製出すべく理整博士沖中所 情軽用リゾール代用品(リゾールル・タール・タールその他より各種の 炭嚢長は語る 炭嚢におったが山西

りの配務運動もどうやら表面というの配務運動もどうやら表面と云ふ有様、大

恢復せしめ改組

配成地へ開

記書し電信及び電話問題に就い 鋭の人物だが往前の肥者に快よ

い電話ლ凹脳の露支交渉に対らず研究中であるが、電

徳思全棚の脚で後ロシャ

關稅休

い日は尚早

ノランス商相の演説

一年間内に各種は独画との通前 一年間内に各種は独画との通道 が、きであらうと思ふ、此提家 が、きであらうと思ふ、此提家 が、きであらうと思ふ、此提家 が、からであらりと思ふ、此提家 が、からであらりと思ふ、此提家

各種副產物

産出の新發見

驚くべき近代科學の偉力

り、また要がであらねばならね。 質を配詰する、われらの機利であ 二十五年の今日、この窓前の事

記域との かいらめか

◇ひに震軍を繋破した

山西炭礦長の報告

松黑航行權問題

勞農正式會議に提出

支那側飽くまで反對せん

氏の後任に任命されたエヌた東支電信談長ザトプレン

そう一では、日本の代表が石柱左往の姿を見せており、そ

近観、陳公博氏等も、古き太原の人々とやつて居り、改組派の

では、 東郷な職権を代方のでは、 東郷な職権を代方のでは、 東郷な職権を代方

蔣閻の妥協條件

朱だ中原平かならずである

山西派内部の大更迭

太原にはいろり

尾翼獲爾氏は残口、第三路軍指揮 氏が震東をめがけて、第二路軍指揮 氏が震東をめがけて、第二路軍指揮李宗仁

では、職海線を堅守すると云ふ線でもある「全に買はれても身は、 理由がある「全に買はれても身は である「全に買はれても身は

るる交換法には李忠

氏が置東をめがけて、

角腰が折れた平地地方の山門にある。間の北京再建の研究は鬼

日韓電」太原よりの消息の命に反し動かず、韓石

、山西軍は州道曾職の決職家を成削すること

電行政長官の張機相氏が低命され るに決定し難隔離長として前特別

製港は本年四月十五日から飛

매處長任命

の影響

行すること 犬の面目を立て

通信權問題まだ

の今日盛に近く

交渉を開始せぬ

東鐵新任電信課長談

木たので山

ゐる。四十五姓歌凰に名を連ね

(日曜火)

西派初志貫徹を期待

反蔣策謀

局は依然として無観を許さない 作業、王譜園氏が急遽太原に赴けるは之がための

になっ

海域、墨藍はロシヤの新麗代析・温泉

東代側の枚数が不翻明であると共 東洋側の枚数が不翻明であると共 地であり、特に前激光線計画年の 地であり、特に前激光線計画年の 地であり、特に前激光線計画年の

造幣局長 永井

住民を代表して十日午前滿鑑本社 に保々地方部長を訪問し同地方の 土木、郷生等の各施設改善方に調 し険情して引収つた

抵抗な極めて激弱

してゐるが、太原では山西各將領を網

質を負ふて

時局は樂觀を許さず

はるに東四省官総は、一方に 対が化主義を建ひながら、他方に 対が化主義とでよりの國民黨に が化主義とでは、一方に これに直接で図が肩を入れぬと、最が絶えぬも無理からぬこと、素が絶えぬも無理からぬこと、 れに染まった自己の個民

店るが、これを先づ東四省に被

っては、気の海とごから武力を以て配っ

東四省(共三)

走

馬

なく、関民憲は赤化されて、邦み奉られしもの

革命の本際國民

つき常談官派に翻今を聖せしと 近も東支将郷公場は、比取網に

滿洲諸問題陳情

委代表湍鐵を訪問

日ま肝密と受するが三世 としても採算がとれると をとれると

遊に向って、

際すべからく舞踏繋捕への態

労農國營機關の 復活捗らず あるから一間壁とはなるであらうでは本間壁の変態と其復活を要求

正式會議後に延期か 第支が野前 ニシンジカート、トランスポー

ト首相は九日テエツカースから米

代表者も 盤笠ず開店行

無產派合同促進

九時大連港外着豫定

兩黨首懇談

障碍除去に関して

決定されるのではない

| 腕布區奔町七九長谷寺前|

王氏(奉天商識書記長)

氏(步兵大佐長崎醫大

の膨厥を眠るべしと云ふに決定し 通令を被する智の膨厥を眠るべしと云ふに決定し 通令を被する智 宗教傳道禁止

小橋前文相 起訴後初喚問

【吉林十日發電】順民政府教育部に於ては近來各地の外人及び教會時東京地方裁判所に出頭諸角雅歌に於ては近來各地の外人及び教會時東京地方裁判所に出頭諸角雅歌に於ては近來各地の外人及び教會時東京地方裁判所に出頭諸角雅歌 | | 東京十日愛電|| 小棚前文相は起 | 東京十日愛電|| 小棚前文相は起

明治三十八年三月十日。わが満 別職は國を琴げ、関命を踏して課 と事実に会談した。 大觀小觀

産の総果、つひに電影を繋飾したく、あにゆる人事を埋置して天のく、あにゆる人事を埋置して天の天佑、それは塩なる運命観でな かつてるたっ 泉間の興酸、食にこの一季に飲

清氏(醫療博士補償勘証 十一日午前 前ります。健康者は元より、長い間恋の変れた病験者は多くであっていた。このでしまではされて、高質維金な薬物や毒体によって、実質なも然療法を是非質行していたとれた病験者は多くではないである。この際同島の方々に私達の指導する。最近な主義をお申込み次第に贈呈致しますから、下はないでは、
となるというでは、一般のでは

を使う。野豆腐 を作う。野豆腐 印に御注意を气

新蘭到着

敗善陳情 ぶ家屯の施設

鮮人単独に闘する件業数の内地輸出税に闘する件

ヨーク戦は十日到際の見込である の一行中四名は本日常地、到着した修機機器シテー、オヴ、ニュー た修機機器シテー、オヴ、ニュー を関係を表示している。 の見込である

軍縮會議は順調

決裂を傳ふは臆病者

損害調査の日本側

英首相米國へ放送

英佛全權懇談

スペルピン十日要案 ボクラ其他で襲つた日本人の担害 に對してソウェート機は自愛的語 無里に於てけ既に日本ホテル其他 の物造物解釈現狀をロシヤ雌に於 であるが個人に迷するとに決定し

肺患と緊縮時代

一個は御用意をし 男子はチョッキのボケットによ 銀貨入に常に 電池の耐久一ケ年リ が挑品であります。

金日を祝賀せればなられ。

全に早く快復せられま=本所生の家産する本でなるに現在偏つて居る人は二度目に受作するさ命が急な身不確っ、全身不確古もつれ手足シビレきかず、歩行風動脈便化は脳溢血の前驅症

では、南部で、福田雅太、南部で、福本、福田雅太、

の祝慶るならか心かられわ

愛兵に御下賜金

妙妓を揮ふ

市役所は自由參拜、祝賀氣分は全市に漲り散聲に溢れてゐる。講演會―放送の夕べ―街頭および戸每には國族飜り各官衙、ぶに相應はしく種々の催し物が行はれた。模擬戰―祝賀會―日露戰爭二十五周年―大連の陸軍記念日は屍山血河の往時を偲

北軍主力 部職と監督する 北軍主力 部職と監督する 北軍主力 部職と監督する 郷し、沙河を後方に栗本

5人中村総設官、三宅登団長、田地須町道路に限襲率天城内をしつ 步武堂々 一十一時人被式に移り悪 行進喇叭 高らかに

八城式中)野砲兵陣地(同右)女 中市長等鞍馬に路がり網々たる客

學生の看護隊(下

忠靈塔に英靈を弔ふ

世界各國酒

00

山

東京風菓子謹製

日本各地名産

遺族や廢兵を主賓に 盛んな祝賀會

正午常盤小學校で

及見が既にも離衣のま、水中に飛び込み殺ひ上げ、直ちに腎師を迎び込み殺ひ上げ、直ちに腎師を迎び込み殺ひ上げ、直ちに腎師を迎び込み殺ひ上げ、直ちに腎師を迎びる。

北大山通り附近に痴漢出後し

多数の説

に贈ち込み兩名は氷中で苦悶

が湯上りの脂粉を夜風に離はせつ

痴漢人妻を襲ふ

祝賀氣分横溢の大連市 動うとし、この頃の温かさで氷面が 遊戯中、この頃の温かさで氷面が

省の

勇敢な二十一の店員

近く大連署から表彰手権き

溺れる二少年を 飛込んで救助す

人職に走り耳に回想談や今日を酌み想ひは二十五年前の

野戦食を御 老癈兵遺族らたい威泣す 戸山學校で催された大祝賀會に

畏し、聖上陛下の行幸 られ柳川勝兵學校長の御説明にて三十 を推戸山野校長御説明にて三十 を推戸山野校長御説明にて三十 を表 戦闘しく選幸遊ばされた 大名が率仕する各種勉強等の武 大名が率仕する各種勉強等の武

された。この日早朝根據地を設備の大編隊を以て難々しく奉行をして難々しく奉行

銃火の轟き雄

聖德街原頭

奉天大會戦を彷彿の

上空にて加減より離れ三機綱 の戦闘機三機は芝

宙返り、四は、機械、木な難し 服けの性間など、日清戦争の安 明の整相官邸に開金された西南 明の整相官邸に開金された西南 が特にする際取役取記者、鑑家の 野にする際取役取記者、鑑家の 野にする際取役取記者、鑑家の 野にする際取役取記者、鑑家の

書家の招

能議争の授技を揮ひ大成立

從軍記者や

好天氣にめぐまれ

よりのお歌さん連で午前九時から よりのお歌さん連で午前九時から てなほ講演といふ本年初めての帳 でもまだ、潜み切った音空を飼い でもまだ、潜み切った音空を飼い でも、お供えている本年初めての帳 でもなだ、潜み切った音空を飼い でも、おりのお歌さん。ほては材をた

込み剛致人り聞れて置いました。 東軍は実質の頻繁に敵原数く乗った 地球また退却、率天城近く進撃した で質の頻繁に敵原数と変した を変した。 をを **白兵戦に** 入らんとしたが

剛軍体職となる、時に同十

けふの奉天全市 湧

朝から夜にかけて 盛大な催しものいろう

てこれを永久に記念するため各 たる今十日、 祀った、なは夜は六時より

ケ小除る加し聯合 前で電脈、鹿の子 0

車の運轉などなさる方には特にお奨めいたしますがられて居ります。それで學生様やスポーツマン自動振つても落しても狂はぬ時計として皆様から大變重實

大變お安うなりまり 振動不感のハフィス腕時計

機話六六七三番

パイプ銜へて

はのばのと明ける……の はのばのと明ける……の 大きく かがく ないいっつたっ 大きく かがく ないいっつたっ かて

大連からヘルピンまで來て見る

F

大地茫漠

ラヂオ

山村水太郎

ればならり」
たといて戦らせといて戦め

でも考へたお似い

いきなり構造

滿洲日報販賣部

澳洲日報販賣部

終子をとりあげるお何の手は、

會場 歌舞伎座 會場 歌舞伎座

でも掛たか、元気がないないないないないないないないないない。

大和之丞浪曲大會

大和之丞浪曲大會

讀者優待割引券

ピッタリ戦子が閉ざされたばかりまむかひの淺沼屋二院座敷は、

◆此人つやものに良く「お七吉三」 でも何かりしたところを聞かせ た。全くそつがない。タテの優 がはい。タテの優

歐小劇場放送 來る十五日に

迷へる兵隊さん

25

發聲映畵

心まるのは、何と言

の箱

重波暦と

その日は、クリステェーニャの数単に対ける人々の信仰の数土に近水を押びる人々の信仰の数土に近水を押びる人々の信仰の数土に近水を押びる人々の信仰の数土に近水を押びる人々の信仰の数十二十二十名

興安の朝

(D) 聖氷上祭 月十九日O

ではならぬ。 を目がけて絵びに出た、私の脳に は、いまあのすき透るやらな米の 十字架が違つてくる。 かうしたもの」あることを見逃し 強教者のほごょろ、ヘルピンには 強数者のほごいろ

明らしい館ではないか、さらやかな解舎、ロシャ風の環状、いまは零下四十度の山の肌も、要ともなれば点でしかろう。総職の花咲く高度、山の斜しかろう。総職の花咲く高度、山の斜 地る汽車の歩みは大きい。 と、明らかに満洲の地形が三つにと、明らかに満洲の地形が三つにせ、つこましい率天まで、満州

◇ヘー

に公主館あたりとなれば、大きい土地のらねりを見せる、其處からし全く平原の感を興へる。 とはうつて便つての展開

0 本曲「蘇月」都山流木村汲 「道行戸崎岡山・福岡市の第、一カ二家葵(小)地の第、八口芳明・八口芳明

4 配御 ネマ順代映画

はに

神の 血煙

ウェイ 演共

イヴリン・プレント線 プロード



冷藝館 るなく白色にか細メキー

して努力を深端する(一記者)

大等のの 五四季 六 久のエ子子子子治子枝子子子子二子子 うる。 ・ では、 ・

大力ガシ化粧品飲含頭(一個) 変千名 カガシ化粧品飲含頭(一個) 変千名 カガシボマード(一個) 変千名 カガシボマード(一個) 変千名

原送附の御販賣店へ抽籤の上 「地域体列看板 五十名 上増進陳列看板 五十名 WHITE MINISTER







を店賣小 お味し 食下さいまし。 往文により一緒に配達します。 しい青島牛肉。一度御、美味。軟かくてトテ ・す「おあしらい」とお確っ 度御試

隣座整常通極京街店的領連連大

宿

ことのさい 「そんなことか」 「そんなことか」 「そんなことか」 「なあの、お山が、風赤に惚えて「どうした?」 触の鼓励を押へてゐる。 関めきったお似に、 (1)

よがす風が、脳のどよめきを仰へ

こめだまなざしあげて、

龜

太 郎

を、それはまがふかたなき左近だしかも同じ二階座敷に、いま覧いて女中野手の一酸試みてゐる渡人で女中野手の一酸試みてゐる渡人 ぞんなことつてあるもんぢやア かてはならぬ、よいかな」 参を押してから暗示を興へると 動者は殿つてうなづいた。 リッと爪立ちしたお似、再び障 見らめてあると、観光は窓といいのでとのやうなことが、 まいたまふ、学問の面を伏せる職 をもなく、グッタリと双手を験に ないたまふ、学問の面を伏せる職 サ、暗示をつづける。 「質質に眠ってくれた」 「どのやうなことがあらうとも野 お飯は絵を自信ありげに、心の「眠れ、眠れ」 れたかしら?」 でましい。 お似はションボリと立ちすくんへおでかけなされたか」 祖分辨彩の茶屋で はろと泣いたが忘らりよか はろと泣いたが忘らりよか けし信濃迫分の節はいとも戻

ででや大川の夜に健康な響はない。いて下さったあのお武家が左近線なて下さったあのお武家が左近線なて下さったあのお武家が左近線なて下さったあのお武家が左近線なてた。よりかへれば原川はうづくまったが、とっ、どのやうない。もしや駅川とても、腰りにおちてある。に違ひない。もしや駅川はうづくまったがを知られたらどうしやう。さぞかし整想をおっかしなさるにとっ、どのやうな数へを左旋線によった。とっ、どのやうな数へを左旋線によった。

入場料は大人五十銭、 機會の長唄盛況を極めた 昨日南花園で 學生卅銭で

演とあつて一族郎戦を発臭して と 概合のピカー 質児安勝君の出 を 概合のピカー 質児安勝君の出 ●サテ宮日の贈ぎるのは、何

ラでは小之殿師をタテとし安藤 であった。師匠の巧媛剛は評するだけが野暮。安藤君の「内の 子師の久根……」の一節のウマ 子師の久根……」の一節のウマ 合はいものだが、斯くまで配様 自までも下稿古に贈命な中村 に禁じ絶大の骸悪を表する。 且つ又、鴨物田中原兵衛師の気 用つ及、鴨物田中原兵衛師の気 北代、武部、田中三夫人を五泉と共にひきしまつてソラがないと共にひきしまつてソラがない 頭痛山人 村上夫人なか

草津小唄夏節 東津よいとと一度はおいで 「草津よいとと一度はおいで ドツコイン ・アッコイン ・アッコイン

五日封切 常味書週間常本現理上の百パーセント映画週間 密座

下 村原宅尾柳村中野田 非原内野中上 ホーステーマもフ 端 端二き ま田カ ツ房ミルをサヌミ辛 つ 音美く春ユーアチルチンドがオーステーの文 る犬子の枝き様

名

賞主様ロルバ・タイデ 品作智能氏ツルワユシ

曲 電話ニニスト 連銀街の高級 連銀行の高級 で、八分金

縣高

五

[1]

ド島十号海政州 J. 出催孔 月若パ 当

一貝平殼

0 \equiv 日 代ケ君・話の士兵老

国族である。オップー

但日曜

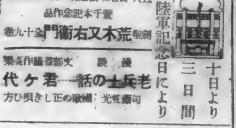
ンテ

唯祝祭日は正午迄

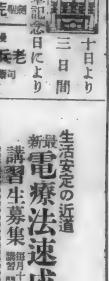
大日本電療専門學院大連分院でも拾分間以内の應用にて神秘的律教を顕す神経

松山重









成教授

開一 始日

規則轉進星







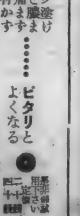
地獄な器 1 71

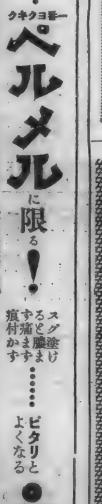
> 花小內 柳兒 科科科

E

光 。 州門 25 10四角 をして

Í





の手数粉は簡別され其影響、大声をは、假りに今間観となりつゝある。既は態度を敷地に起長するとすれば、変不、連に於ける受人、荷緑等には、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、

市

小のの

□偽造品あり、藤井の名前に有

特豆粕不合格品及

追頭所長

月一日以降實施

制度の沿革

はて荷緑料を要せざる事となれり

製、右流合保管問題に難し左の決

職兄弟の枯骨の上に安住の地を と、その日季天 省城の馬喇は死 山蛇河、しかし ロション・その日季天 の日季天 でからは先

問題について、

を製地に軽はる1機なことになり を製地に軽はる1機なことになり なし大正五年十二月雷時埠頭事務 がし大正五年十二月雷時埠頭事務 がし大正五年十二月雷時埠頭事務 を大連混合保管物と混合保管豆粕 を大連混合保管物と混合保管豆粕

本件は左の理由により同意を表本件は左の理由により同意を以て謝絶すり、相互の立場根本的に和立る。 改地に於て受入の可なる。 改地に於て受入の可なる。 改地に於て受入の可なる。 改地に近入さる。ならは、近路を企業して決論を重じて共制限を企業して支制限を企業して支制限を企業して支制限を企業して支制限を企業して支制限を企業して、企業をのに非ず、できるのに非ず、大連流影響である。 後來製品の結果を来するのとして

審要被選の影響に依り消化被活を を表現の影響に依り消化被活を を表現の影響に依り消化を表示。 を表現の影響に依り消化被活を を表現の影響に依り消化を表示。 を表現の影響に依り消化を表示。 を表現の影響に依り消化を表示。 を表現の影響に依り消化を表示。 を表現の影響に依り消化を表示。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現の影響に依り消化を表現。 を表現。 を、 を表現。 を、

御立営時と 今日の比較 今日の比較 大連五品取扱所はけふ十彫年 記念日を迎へたが創立営砂の 配念男と昨今の不汲と地砂 すると全く際世の離かある。

化 初 大正九

鈔票は强調

金の軟化

高十萬株に達し手数料収入の 加きも一日一萬八千餘層を事がたことがある、現在の代謝が、、、 で百五十日) 収入よりも多い ですれば二十分の一に鬱落した五品を総頭に閣様共ことご た五品を総頭に閣様共ことご た五品を総頭に閣様共ことご た五品を総頭に閣様共ことご

三郎▲背馬安吉▲泰草鉛▲生江
→藤田壽夫▲海老塚要▲杉浦幸
取引所員

大連五品収別所では十日前場に引用年記念設置金を介含年前十一時から十歳を後端を立合年前十一時から十歳を後端を立合年前十一時から十歳を後端を立合を引きたる。

株價の.....

五品十二

周年記念

十年勤續者を表彰

東業債券役行 第百三十二回興業債券を設行する ことゝなつたが、條件左の如し 一、發行額 一千萬國 一、發行額 一千萬國 一、發行額 四月一日

けふ午前十一時から奉行

趙▲動振▲劉成拾

るる。目下職級法状のではないかと見るる。目下職級法状のでは 性へである(単位百石) を構工材 単本 本材 単本 材 のではないかと見 のではないかと見 のではないかと見 のではないかと見 のではないかと見 のではないかと見 のではないかと見

上旬對外貿易

四四三六八

合同見本市

空前の出來高

けふの特産市場振ふ

▲大 豆(摩 月 寄付 高額 月末 次30 次4 月末 次30 次4

賣物殺到して

入超僅かに四百萬圓

中大連民政書調査による一月中の無の出資物證明の内容は左の如く、産町二四、製産原地證明百五十件出五百二四、製産原地證明百五十件出五百二四、製産原地證明百五十件出五百二四、製産原地證明百五十件、原産地證明十七件五千七百七十七屆であるによる一月中の無理位別を示きは左の如くである。 輸出貨物證明

【東京十日智恵】三月上観に於け を主要十三港號外野婦は左の如し 職 出 四七、二十七〇〇〇 合 計 九八、四二四、〇〇〇 合 計 九八、四二四、〇〇〇 一月以降入稻果計 八二、七四五、〇〇〇 一月以降入稻果計 八二、七四五、〇〇〇 一月以降入稻果計 八二、七四五、〇〇〇 一月以降入稻果計 八二、七四五、〇〇〇 一月以降入稻果計 八二、七四五、〇〇〇 一月以降入稻果計 八二、七四五、〇〇〇 一月中の 一月中の

五〇六六五〇

のをご 第 の14、第 を記す 改 車 職 車 職 車

(元()一六、一四五ムドロが、六九〇本計(一五〇)三八本、一四五ムドロが、九〇八ムマグが、九〇八ムマグが、九〇八ムマグが、九五六ム電気抵抗材料の、六九〇本計(一五〇)三十五人。 学校

四六〇〇

□ しつょあった大豆は小では ・ 東地野を刺動で大豆を加いた大豆は ・ 東地野を刺動で大豆を加いた大豆は ・ 東地野を刺動で大豆を加いた大豆は ・ 東地野を刺動で大豆を加いた大豆は ・ 大運が、前場のみを以て大豆は ・ 大運が、前場のみを以て大豆は ・ 大運が、前場のみを以て大豆は ・ 大連筋の質物が可 ・ 大豆に豆 ・ たって場面の活況と共常した。 を合すれば糖出來は千七百日 ・ たっているかって大豆は ・ たっている。 ・ こ車といないコードを示して ・ なって出来 ・ こ車といないコードを示して ・ これでは、 期・

上海為替 | 東新(寄えつ) 一点一套

大 龙 显 大先 記|記|記|記|

株式が取り、山田へ



龍角散一服、 姚千金十 けれどもまだ寒い

手形交換高 一月中の 前月より減少

ONE E CUALE O

五月古日限 六 六月古日限 六 合 計 二、六至 一 油、銀

大五二、100

二、五

市

沢

の殺到に

競争亂賣豫想さる

同十日前場の特配市場に於ては前週 一大連筋、関や筋の要がの数到して を放出しは外限安、野地安、野に 大連筋、関や筋の要かの数到して を放出しは外限安、野地安、野に 大連筋、関や筋の要かの数到して 大連筋、関や筋の要かの数到して 大連筋、関や筋の要かの数到して が之に膨倒して豆粕、豆油、高粱 一手に一部に成化しその田来高も豆 一井工・五車に整した が一十五車に整した が一十五車に整した を配一手と百九十三車と空前の出 本高を記した

一つ園あ墨十裡でのは 日たしる本国の留言 の▲でが」年年

新参豆信品 密 () 日 (

場(保合) が 東新(部 発)の

(大祥) 六一、三五 一、九八五

入七六五圖三限

第4生米 11歳日 前1日 11歳日 110日 11歳日 11歳日

七大五四三

先當 种 互和 1000 三二 大大 〇〇

田

分分分分分

展替東京九一番 展替東京九一番

++

東地市况(計) MA大馬 () MA

ノーシン・

一百 せき頻りに出て」夜まな服りまる ぜた 凡そ一二選問職けて用ひらるれば其効果顕著なり、 其他如何ほど頑固の呼吸器疾患のたんせきも

百日せき 叉ははしかせきの小兒 一日世き 叉ははしかせきの小兒 一日世き 叉ははしかせきの人 が行感冒ょり起るたんせきの人 が行感冒ょり起るたんせきの人 かんと、にてゼイゼイ息切する人 がんと、ない。 がいると、 がいる。 がい。 がいる。 はいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がし。 がし。 がしる。 はいる。 はいる。 がし。 はいる。 は、 がし。 は、 は、

る人は必ず試みよ

天不签集制

喜の

秊

五

第

回配本

第八卷

新羅・初唐

草被千字文

海鄉仁夏紀功碑

雨公主悪路的。一袋懷哲

早集大行義一七光蘇。護太

(日曜火)

系統序列し 綱の羅代 拓により牧 他に比類 表的碑 會費一時拂 | 位月排

に親めば何人でも必ず能書家になれる。 はよう古今の名蹟に親むに限る。 支那人は関本人も支那へ行くさ上手になる。 つまり は 一生の損ださいふ。 なるほごと思ふ悪筆は一生の損ださいふ。 なるほごと思ふまりは 下四零 傳佐理、傳行成、傳道長等上代假名の精 廿多室町時代、江戸時代、 -五零 傳藤原公任筆北山抄、 大會 傳紫式部筆久海切、傳大貮三位端白切等 2巻 鎌倉時代日蓮より足利尊氏、高麗、元 ※ 平安朝末期より鎌倉時代、高麗、北宗、南宗 鎌倉時代より江戸時代に至る假名を網羅す 清朝は國初より乾隆まで 清朝は嘉慶より道光まで 傳小大君筆香紙切等 福き古今の名蹟に 八は字が上手、 明朝の諸家

も賣行よき書物

東京で最

衛田田平室木野山 七巻前卷以後、魏、北齊、後周、陳體の諸碑 六の高勾雕、新羅、及び六朝諸碑の粹を萃む 四参魏隷及び吳の諸碑 八名 奈良時代古金石、處・歐・褚等初唐の楷書碑 二卷樂浪秥蟬碑、 十三条傾貫之高野切、 TI 卷 嵯峨天皇、橘逸勢、 十多李北海、張旭、李陽冰、顔眞卿等中唐の諸家 九巻光明皇后時代の眞蹟、唐の宗室の書 五の千古の書聖工義之を始め東晋士人の法帖 三条敦煌出土の兩漢木札、 隷書の精髓たる兩漢の刻石等 傳小野道風秋萩帖等 空海、晩唐の諸家 道風、崔致遠、楊凝式等 禹域出土の貨蹟寫經 一代吉金文、李斯刻石等 瓦當文、 印璽泥封等

徳富蘇峰氏日く

宮蘇峰氏日く。三月二日東京日々新聞所載

ハケ敷教訓や、鹿川らしき、聖人臭き言説やよ

も、寧ろ此の一般を讃ま

小面倒なる理論や、

甦生した新東 れは生きた東京を収扱つた生石川欣一氏日くの全く 沒料內地十二號。鮮滿廿二點 定 價 一 圖 八 十 總 圖 二 百 五 十 維 近づ 全貌 田线莱入

はこれである。

六四六 图七大

東京舞前



谷崎潤一郎

③ 高等學部 為 養養

が対 大連商業銀行

衛婦は 工事の 高石石 命 高麗田田田田田

• 有演戲曲集 の青年達は、この『天下のモガンの青年を呼ばれて、日本にとつて遊天荒った時代です。「野して一九三〇年」な時代は、日本にとつて遊天荒った時代です。「野している」という。 埃及文化裏面史西井區 抗鳴への 語 ·上山草人... つの肉塊がもつれ合つた酸酸、チラと観れたる神の形態は何であつたか?人なられたる神の形態は何であったか?人なられたる神の形態は何であったか?人なら 本誌には、これが 着席出— (美生家) 美生家) せる残事の大公開 がミタジ袋と月給 がまり、サラリ スポオツ新青年 : 興ざめのする茶飲み 福永恭助 イ藤井札 春田俊置 マシアド 辰野 營)錢十八價特 光山郎擊功

(I) 西南學院學等募集圖等 ▲本菜後崎等標部に連絡をり、 ▲ 人物考査、身體檢查の外題科表 の外題科表 の外題科表

職 では、大きな人との戦山に三、四重戦 では、大きに一行が、一部のの戦闘がられてゐることを でいます。 て行はれたのである。恰も明治四十一年、清集地戦闘を所景木戸忠 である。 はも明治四十一年、清集地戦闘を所景木戸忠

代に入つて、この地方において鉄

に ものと最近類りに焦慮し始めたら れるに至った 【東京十日發電】其筋につき職既 しくそれかあらぬかマック首相は英麗館が来る 最近新聞記者に默し四月十五日送 はのと最近類りに焦慮し始めたら れるに至った 「 ものと最近類りに焦慮し始めたら れるに至った

山東進出

の野心

張學良氏の態度重要視さる

節は歌州の東方に向ひ移動を開始。新郷に到帝した、韓軍の第二十九

佛戦時協定案に

『北平寺電十日歿』確なる情報に 「大名と張思良氏は最近素皇島より 「大名と張思良氏は最近素」。 「大名と張思良氏は最近素皇島より 「大名と張思良氏は最近素皇島より 「大名と張思良氏は最近素皇島より 「大名と張思なる。」 「大名と張忠なる。」 「大名と張忠なる。」 「大名と張なる。」 「大名と張なる。」 「大名と張なる。」 「大名と、「大名と、「大名」。」 「大名と、「大名」。」 「大名」。 「大名。 「大名」。 「大名」。 「大名。 「大名」。 「大名。 「大名」。 「大名。 「大る。 「大名。 「大る。 「大名。 「大る。 「大る。 「大名。 「大る。 「大る。 「大る。 「大る。 「大る。 「大る。 「大る。 「大る。

した

貿易勘定尻

英國は反對

米上院も反對氣勢

の内容において種々の缺陷のなり、その相であるものは、その相の小質商なるものは、その相がである。 すなはちかい 小質商者の個み脅威は、對外的

という。 はて、設見に歪るまでの基 はて、設見に歪るまでの基 が、わが日本人の頭腦に のがるかことは、見のが のがるなる。

に入日午後二時に入日午後二時

不況教濟の

陳情が猛烈

新に火を入れた 鞍山新式鎔鑛爐

選提にデンマーク無領事館に入らせられた、御途中御一行は 御到着になつたが、午後三時三十五分在支デンマーク人の報 の数下側弟クヌート版下、御從弟アクセル版下同紀版下の御 の数下側弟クヌート版下、御從弟アクセル版下同紀版下の御 る事類を削削祭になつた 九日上海に御着 大北電信局御親家

「本子、北欧等合計数十萬年的の公所で 大、北欧等合計数十萬年的るが経 一、北欧等合計数十萬年的るが経 一、北欧等合計数十萬年的るが経 一、北欧等合計数十萬年的るが経 一、北欧等合計数十萬年的るが経 一、北欧等合計数十萬年的るが経 一、北欧等合計数十萬年的るが経 一、北欧等合計数十萬年的るが経 一、北欧等合計数十萬年的るが経

原質に総合せられるのである。

【ニューコーノ八日接電】

糸價安定補償の

米無電會社の

壁的進歩を襲撃さするものなるものは一面、わが日本

,抹皇太子

全権自身は其他官に反動でなく其一が通過を許さぬ形勢であるを設き配料協定提案に動しステムソン米ーのるが尺アメリカ上院の形勢は之『ロンドン九日設電』フランスの一提※現由に続いても充分誤解して

奉天商埠地擴張

武洪

安的和平交渉によつて

河北山西の地盤確保

野心家の利権目的か

が同所の地質を掲載せしめ一様け

せんと戦策したものであると

山西派時局對策

一時的自衛手段か

售暦国六月分の

1 日設電 湯電路船中鮮男品近鷹基 にかょり燃製中であったが入日午 にかょり燃製中であったが入日午

ル日 設電」 養粉製作物関車 高いて居る 「日設電」 養粉製作物関車 高いて居る

貴院を改革

義務教育費問題で

民政黨側は態度强硬

を取らず残りに新織の調査をして り取政ず未園より金五千高元を借事 では過級平倉三名内像道際の研究 ては週級予度三名内像道際形成に伴ひ い 現在の如く外人に把持されてある 服次これを他の機道に及ぼす獣髪 現在の如く外人に把持されてある 服次これを他の機道に及ぼす獣髪 変上不便なりとしたれが回放につ と 策上不便なりとしたれが回放につ と 鐵道政策を確立 米國と五千萬元借款

東北交通委員會

が併し中小商工業者の經營職といか如きは時代の邀轉に相違ない。ある。全然これを否認せんとする

野日照硬は全種を動かして益々態度賦和を困難ならしめついあり、倉護の形勢はデリケートとなつて相、未佛交渉に大馬力をかけて来た事は殊に顕著でしかも日米交渉は一向進展せず、米上院一歌の日米、米佛交渉に大馬力をかけて来た事は殊に顕著でしかも日米交渉は一向進展せず、米上院一歌の相、米合もの引きも切らず、最近二日間に到着せる此の補電報は實に数百道に達して居る由である、米全東の引きもの引き、最近二日間に到着せる此の補電報は實に数百道に達して居る由である、米全東の引きを表別に対しては、大田の一般の一般の一般の

程度の弾下げならんど信ぜらる をも、緑色な観点されるが之は到底英米 の特徴には逆せず様々五、大画戦 の弾下げならんど信ぜらる

をでるにより をでるにより

せる歌あり、統一的の歌目に互か の下に民間側の意見を聴 あつたが、各地方的に富

(イ)早生品種の選定の研究を行
な、或程度迄之が普及を圖り現
在の朝鮮米移出時期を早める事
方法を研究する必要がある
方法を研究する必要がある
方法を研究する必要がある
方法を研究する必要がある
方法を研究する必要がある
たで實施に要する質問は追加強策
として感昏所殺を耐勢した
を殺者として感昏所殺を耐勢した

軍縮會議は

急速進展を見ん

学の存在を選出に之に反対して再 を要求職士とフランスが飽く送其高 を要求職士とフランスが飽く送其高 を要求職士とフランスが飽く送其高 を要求職士とフランスが飽く送其高 は鎌倉にて英國軍権問題にて手 の存在を選出に之に反対して居 の方でのできを認問。

日本 田 『上海九日愛電』 東光、王正廷、 田 『上海九日愛電』 東光、王正廷、 田 『上海九日愛電』 東光、王正廷、 四日淡に胸印可能なりと支那能は

調印可能

十四日迄に

■ 大歌画記録し本日開保宮崎に通信 の發信説解るる無電送信所塑散方 任所な参與官 (二等) 内が修作三郎 では今般南阿ケーアメウン及び | 許可顧を出した、なほニュー= | をも同時に出願した | 佐爾工参與官 (二等) | 内務会與官 | 内が修作三郎 | 内務会與官 | 内が修作三郎 | 内務会與官 | 大歌画記録し本日開保宮崎に通信 | の發信説解るる無電送信所塑散方 | 任商工参與官(二等) | 任商工参與官(二等)

外遊後の處置

||第三集團軍は高徐兩氏統率||

趙氏中央と打合結果

マツク英首相焦慮

内在す

石の勃興は時代の御勢で

米國全權の態度

能職は配に作用方式に関する企式 は概まるだけで打造る事にしても

た頻繁水砂田調節に関する影響と共に相触を構の個く中央に於て間壁を表に相

緩和困難ごなる

上院議員一派の硬論に禍されて

對日交渉は進展せぬ

問題は寧る

社

說

の生くべき何人をも質賞せしむる」も、質の合果にに到達し得ねのでいと思はれる。個人組合といふも、要むるに急にして自らを反復するいと思はれる。個人組合といふも、要むるに急にして自らを反復するいかの生くべき何人をも質賞せしむる」も、質の合果にに到達し得ねのでしておいる。他を教育策に耳を傾けぬこともあるま、が存するのではあるまいか。他を教育策に耳を傾けぬこともある。

やづ外閣に存することを示 でして根値内に存在 でして根値内に存在

和の保障なるを述べてお

な世界で

朝鮮米

年四月世年四月世

正常の如く入日午後入時頃

一人心中原因

(朝鮮漢江摩察署長)

父通 デー 四、十五兩日 一切の交通収締りをる十四、五の兩日を 國籍職業氏名

かせデザ、 され出席者は林總領事、 率天然祭署長の新任披露宴は入

店の風に行き詰つてワ

五年前の激戦を

如實に再現り

當年の三老勇士が 永安校の記念講演

と団」の方面に進んでりでるたのが實は自分

校音樂會

町の便り

供はその個人を思は 見るや

民に一層の注意と反省を選む 先この例は多々ないとも限られている。 で見たら確な處が判るだらう▲

機を受けて事業を中 | ことではないとみられてゐる 小學校は服部中佐、永安小學院の内ででは、「一時より各生徒の内で に降賦、同十時十分散会した。

支那側取締辦法

跋扈と

吉

7年全く無爲

路支紛争が祟って

該當業 近来間島地方に於ては不逞戦人の を選がしきを加へ物問題然たり とが為め日本官説に於ては全力を を注して特別歌歌に低じて居るが を注して特別歌歌に低じて居るが を注して特別歌歌に低じて居るが を表示される。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表述さる。 を表述さる。 を表述さる。 を表示さる。 を表述を、

、既に伐採時期を過ぎたので山襲安徽の事務所で執務し始めた。

きぬので丸一ヶ年の措

延吉籌備處で制定 養兎と養鷄を

社員會で副業に獎勵

が主人はだしの適品もある。係主催の実人洋温度監合を催した 讀者慰安浪曲大會吉田奈良丸改大和之亟 | 特等二圓五十錢、一等二圓、二等 | 一圓二十錢、 | 一圓二十錢、 | 一圓二十錢、 | 一圓二十錢、 | 一圓二十錢、 | 一圓二十錢、 廿廿二十十二日十六三日(安開長 播營旅 滿鐵龍會課滿洲日報販賣部 東原春順口順 十八九日(孝天)十二日(劉 嶺)

の貸め來吉目下潮在中 の貸め來吉目下潮在中 の貸め來吉目下潮在中 の貸め來吉目下潮在中 が毎月五百元の損失を見越して計 張主席壽辰 齋藤院長外遊

おおお本とで居る であるが、 は今回滅線を命ぜられ来る二十日頃吉 日下奉天に滞在中なので吉林省域、 林出穀の豫定であるが、前の一ケ 監に於ける文武大官等は相次で視覚 年間は九大に後の等年は外國に留に於ける文武大官等は相次で視覚 年間は九大に後の等年は外國に留に於ける文武大官等は相次で視覚 年間は九大に後の等年は外國に留に終ける文武大官等は相次で視覚 年間は九大に後の等年は外國に留に 音林道線東洋野院長瀬藤湖大郎氏 古林省政府の許可を得たる無治跡 低の野鼠が歌歌さる僧であると 英支の合辨か 撃運することになり、別に内孫総 前田醫鼠が當分代理として一號を 戦の由である、因に慰畏の後低は 嚴重處分

陽

更らに 四名

麻薬密造賣を

嚴重取締る

十八件、総会達度百五十七件少一十二件で其他國際特殊遊童度二百十二件で其他國際特殊遊童度二百二十六件、総盗一千五百五千二十二件で其他國際特殊遊童 件、阿片犯二百五十三件等で

戦の如く百動十名を離免すると 人を一続する意響で三月末には氏 人を一続する意響で三月末には氏 南洋兄弟閉鎖 はる反転の彫があらり

八日西公太堡へ

天堂主風呂崎

可認物與動權三別

書や

八日西公太堡

二月末迄に

淘汰了る

東鐵白系露人

心關檢査を簡便に

明細書を提出せる

銀安のために監髪不振に陥った結果であると 間の店は閉鎖した。原因は其れ

露天掘の石炭泥棒 益々猖獗を極める 炭車を襲撃した一團

◇ 自分さへよければ人 ◇ 自分さへよければ人 ◇ はどうでもよい自分 ○ はどうでもよい自分 ○ はどうでもよい自分 これが現在の世の中か知ら はが現在の世の中か知ら であるこれが現在の世の中か知ら であるこれが現在の世の中か知ら であるこれが現在の世の中か知ら

張込員が危く阻止

カリいれて町から町へ一人で遊り カリいれて町から町へ一人で遊り であた▲間も夕万になつてヒョッ ・気がつき晩宅しやうと思つても

値下げするか

如き兇暴犯罪も起席に多く数人 四き兇暴犯罪も起席に多く数人。 動物

來より二百名以上多く教教立四百人程度にて今回の政

公會堂增築

別は左の通り

診療所開始

を たのがモロー大使、線いてリード が続まつた、客邸で歌音を続つて が続まつた、客邸で歌音を続つて またショウ翁も既々相手の減るの に繋が付いて「お茶の間」に移り窓々「お茶」

使はないないと

はなし!

英國は久しく國際職盟から膨退 する方法を探して居たんだ、そ こへ出て来たのがケロッグとい ふ男、例の不臓能約を持出した んで喜んだのは英國だ、學滅これに翻印したが、之が即ち次

後の間に食ったお菓子と飲んだコ が、しかも此の御老人お が、しかも此の御老人お

次ぎが不職條約の悪口

る組織を言ふか。一言にして言へ 然らば「組合國家」とは如何な

老來益々旺な

ショウ翁の毒舌

でであれたのがモロー全権 「何ね、第二のジュットランド海 であれたのがモロー全権

ったらどんな目に遭つてるでせ著し動とわたしとがロシャに居

と 洋きかり ない 好き 好き にも

なから話頭は動じて赤い園ロシャに及んだ、アスター大人テクシャに及んだ、アスター大人テクシャとと皮肉交りに社會主義の攻撃

內科專門

『お次は英米戦争に定つてる』

各國全權を煙に捲く

では大きの海腹の距離のいいことは大きの海腹の距離のいいことは大きの海腹の距離の

十六时から十二时にする迄

日

大部門に分けて

路上及び航空運輸 10六大産薬別に資本家艦と努った大産薬別に資本家艦と努

ステート」又はギルド・フラー たり、今日まで織いて箕施せられ六年(大正十五年)四月に遊鶴と イタリーの「組合画家」は一九二の「産業立國」は具體的な制度である。 形式の繋った組織である。 ステート」又はギルド・ステートでこれを英語で『コルボラテーブ 編み出されたのが「組合國家」

産業合理化ご弊害

近藤博士の視察談

めに追はれ、海外へ同出する必要

と 後ドイツから 職時保御の代償とした で輸入し、ドイツ品を傾いであた で輸入し、ドイツ品を傾いであた で輸入し、ドイツ品を傾いであた では から は いっぱ いっぱ は いっぱ いっぱ は いっぱ いっぱ いっぱ は いっぱ いっぱ は いっぱ は いっぱ いっぱ は いっぱ いっぱ は いま いっぱ は いっぱ いっぱ は いっぱ は いま いま いま いま いま いま い

場を緩騰したいと大使館に聴ったののでないかと思ふ、化壁薬品の工ののでないかと思ふ、化壁薬品の工 機能を建造したがいい」

精英 は電流の関有や交際には反流であるか――由来、ファッズム る。然し自由競手――強い者勝ちる。それ故にその能力を充分に要がある。それ故にその能力を充分に要があり、これなら内の判論は國民の生活を保護する。それ故にその能力を充分に要がよソリーニの電流線側の可能に合はない間人のおちる。此の目的に合はない間人の対抗なら内の判論は國家の力で離時をある。

世界的行詰

Ξ

年

五

創設の「組合國家」 産業團體が結束協調 ム首相が ウトといふやうな事は終端に許さである。 ストライキだのロックア 立國の基礎

(四)

■を聚復した り」斧は螺針の が、「■結の

制が行はれ、

ます

三星特製

洋生菓子

● 三星食料品店

を充分破残した上で實施するのがの合理化を實行する前にその峻陷での合理化を實行する前にその峻陷である。先づは日本なども産業 よいだらうと数へられた――ベルリン駐在の商物官も同様の意見でレストランの食事も不味い上に社会の動揺もあり正に受難時代である、然し化學工窓品に残する世界 るる版は繋い | 物準出には上下を撃げて努力して

をメン化に**斜意** 建築であるのと

か、本年は他に急を要する建設したが、本年は他に急を要する建設工が、本年は他に急を要する建設工 張作霖時氏の銅像を聴設する計畫を取感して▲其の後に故孫女及び

は一年間認命を延ばすことになっ 「REの善政弾を建立する記憶がある を開いた張作相主 た▲間島地方の態民等が張作相主 して目下善政神建立の爲めに奔走。他三は民族主義者命臨鍋等と協力



お子様ケ

達

すか。

二分で

安的

がなく

溶験も

安心

の序で売

洗れ

す

安心

心心

3

使へる石鹼

ドクナル メデチーキ 佐 木 瀬 三番 東京理學療法研究所





にたる卓効ある。 大連案内所で御旅行の事は

を配述した影物を送れと関中込下を配述した影物を送れと関中込下を配述した影物を送れと関中込下を配述した影物を送れと関中込下

毛5点 染毛赤 便 被數小五十錢 大七十五钱 ▼全國 有名 機鍋にあり

四端人の水幅として君が代の常用をお髪め致します、たらも、流空楽、君が代は如何なるしらが、赤毛、とら毛、流空楽、君が代は如何なるしらが、赤毛、と毛でも喰かに三十分で見惚れる程の悪髪となると形での 是高階威で衛塵います て、聖く難しく無高く懐かしく上品に化粧度を完め肥に移無の壁、それは如何に御婦人の容婆を身の肥に移無の壁、それは如何に御婦人の容婆を身 黑髪は女の生命 山吉商店

罗罗罗

(2)2. (2)2. (2)2. (3)3. (4)3. (5)3. (4)3. (5)3. (4)3. (5)3. (5)3. (5)3. (6)3.

遼東醫 話二二二

到美俚 香州宋矿 中央公園水梁門停留所前 大連市西公園町一三一掛地 春晚

櫻井內科醫院

高度になるので、

いならなに養養が債務 質がよくなければ、器形者にとって、それは、質がよくなければ、器形者にとって、それは、変質でなくてい。 さきック 石鉱の様に、色髪にも、香味は、なります。 で、その鑑賞が優秀であつてこと、 変質がしたの様に、色髪にも、香味がなく、 変質がしたの様に、色髪にも、香味がない。

丸 見 慶商 店

本館

東京

0

高い上の方に見えてるまし

として或る多の朝、担つてゐた と下に落ちてしまったので龍起は吃葱しました。そ して龍延が無が付いた時、自分 して龍延が無が付いた時、自分

対域へ走つて行きました。 と向ふの万に明

と考へた簡延は、穴の中を歩

か、其處は地球の金融だつたのと、何と不思味がやありません

つて行っても終一人として知る

部のしつかりしてあるもの、頭の は特有の芳香があるが古いものは は特有の芳香があるが古いものは は特有の芳香があるが古いものは

手と賤とでやったのである。芸年 ・一手と賤とでやったのである。芸年

のパリーの流行、モボ日くそれ 船人のスカートが二寸下り陸小

はアナクロニズムだ

サアニ店要否属金 :

イワキ町 新古橋 電七四三五 ウ島 高質買受

モミ 原治御好みの方は

電五五五七番 電五五五五七番 電五五五五七番 電五五五五七番

西公園町六九

張了OE

商品の雰で直洋行へ一向町の

常能標際千山富電四三六二。 御度勉強して頂升 御度を強いして頂升

婦人 網、リキュ! 婦木丈太郎 電話四六九二 鈴木丈太郎 電話四六九二 が一大連二 大連二 大連二 大連二 大連二 大連二 大連二

た、瞬間日くそりや聞えませれた。時間日くそりや聞えませれ

に置りはじめた寒であった。

一般の関係者はいづれも超人的な労 て、金を出してやららかといふずと峨とでやつたのである。 去年 や獣無は 感覚だけを大目には見ずと峨とでやつたのである。 去年 や獣無は 感覚だけを大目には見ずにはなか / なさまされます

る、それはアンモニヤの競生のたとしてはアルカリ性反應を生するとしてはアルカリ性反應を生するとしてはアルカリ性反應を生する

高粱

正満とは地主の名です。誰も居

人もないのですいけれども随至

鬼や角の容験をされても出ります たことでした。金を貰へばお互の 気がゆるむ處かあるし、それに、

死亡した姚兒が兵庫縣にあった で離配口中に大火傷を受け返に 悪勝した霧瓶の湯を飲まんとし

不用 品級切木位質受不用

歴紙 演中に家庭向徳用の生職 改良の三山島紙

楽はヒシカワ楽局

就灸治療

五丁目二百一番 お灸 家ハリ次専門療院

白帆。高級お化粧紙は

天帆高級純生涯な使紙は

将天浪迎通り 将天浪迎通り 門永洋行

夏益 の御川命は

い郷蔵があつたからです。 脚主に知らせてやつたのです。 地主はびつくりしました。何故 って前に馬賊に妻を収られた苦

道は必ず開かれると、再び聞いから本……それで最後まで行か

新刊兒童教育會紹介

子を持つお母さん方御用心

い細数があつたから

して金銭の入った悪い調べて

をきめて、 番詞を織けることに 数の優良教授を手厚く鳴して、ニ での他から時々必要を識ねしめ、 又東京

し間延の知らせが遅かっ

教育問題研究(三月號)

の間しまつて置いた職當の有りつたけを出して子供の御気轍をとがバラスの小徑を続つてゆく足どりも軽い、金組の中の復公は冬

部分がには魚ならば鯛の色が鮮かに黒

も輝きがあってぴったりくつ付がなければいけない。そして瞬

る壁雕の姿を見、症性では小原氏では銅直氏に案内せられて完成せ

大で判衝を受けた

宿料 倉事変具共月三十圓の割 大連美勢町ル五貯炭場前壁雨能 大連美勢町ル五貯炭場前壁雨能 大連美勢町ル五貯炭場前壁雨能

實印の御用命は

薬及治療

良屋館電話三九一四番永滯在の御方には御相談

ットー吉野町六名古屋館電売三一員 間提供影切叮嚀は館のモ

中書 邦文タイプライター印書 郷需電八四七一ター印書 那文タイプライター印書 田本領近 | 吉 野 選 一大山南(日本南近) 吉 野 選 |

ラチオは何で

宿

ねて行ったのである。そして成城

久朝を謝するの意味もあつて、

部分を 指で膨へて見てす

に対象の御馳走になって、生みのに対象の御馳走になって、生みの

リーオスロン氏は人類は原人かりであるといふ酸を發表したりであるといふ酸を發表したりであるといふので人態同様は誤人かりであるといふので人態同様は誤りであるといるので人態同様にはいいません。

一塾生に導かれて、

日

春は忍びよる

春

り懸分高い程度を良しとしますしておいて戦かくなりましたら室を

も結構、松野は湯に設し

に來るのは往べにして降戦したもが、支那人などが離に入れて賣り

のや古いものがあるから買ふ時に

分けラードでいためてもよく、それのから半分出して畳などをよく

調理(以上七

光づ膝の機関五十分

往々中毒を起す

既すとふるへる様な弾力がある。 そして甲羅の柔かいものは驚いいったこの新らしいものは驚いないと、水分

でも二、三百頁でも、交五、六百 同でも結構です、書いて底きたい の一つとして、是那お願ひしたい のです、どうか君からも特に額ん

新鮮度はこう

部二個、**藝**粉大 **斯十個、衛先**

古い魚介類は

上にかけるのです

◇南面を開放◇

部その欠りした窓

の強い弱い、季節時刻及身體の治性めるに最もよい時ですが、日

健康を増進する

日光浴と入浴 を知らぬ人が多い日光の醫療的効果

する事はよい事です。 室で就繰したタオルで全身を膨勝 の入浴する洗湯では長く湯糟に入家庭風呂でもさらですが多數の人 は直後に入ることは避ければなり

歴史に変換の五十分、 郷に入れて火にかけ繁油二号と 製を用ひても良し。これは濁つ 後取り出し交片でを焼き、ほどよべ熟湯にかけて約二十分間むして 中態一杯の夢を水でといて、どろ小匙一杯を加へて煮立つたならば 郷内のスープ二合へスープとして くやけたら丼に温かい中に次のソ 二、三分の精圓形にまるめて、蒸 スをかけて食べます、ソースは を作り肉既子の

よくかきまぜ、厚き三分短便一寸、監一杯の窓粉を水でといて入れ、大監一杯の窓粉を水でといて入れ、大 切りにしておき





=

「ココニ キデハ ギケンデス スコシモ ハヤ コマツタコトヲ テマネデ 大チヤンニ シラセマ ニシタ、大チヤン ハ「ハツ」トシテ トピオギマ ニシタ。 t コシマシタ。ヲヂサンモ

大チャ

モウジウ

IJ

3

ウ

畵

(50)

ル 7

11

チ

満日案内

不用 品高價資 人名葡诺

安那服の意

ニゲマセウ」大手ヤン ハ ヲヂサンヲ ユリオネムツテキマス「ヲヂサン キケンデズ ハヤク

て見分ける がでた時水分の出方の少い方が新 がでた時水分の出方の少い方が新 五月が至八月、蝦は五月――七月 で、之等は一般に薫鬼脚に於け のは有最である。即ちかきは のは有最である。即ちかきは のはが、一般は五月――七月

一人の魚介類が市場に出る一尾にも躍力性のあるものでなけれて漁業期に入つて、これか一色の黒ずんでゐないもの、そして がいけない はいけない

『玉川學園』を訪ふ! 教育の理想郷 **寧天淡專附屬主事** であり同時に此の頃には味も劣る 畑中幸之輔

この一月中旬東京へ出た序を以て、本世話になつた人々であるので、 小原氏も銅直氏も私の同窓であり、特に種 にあまる壁あります……資金の調ぎみもあるが、愉快もそれを悩ふ 力をしてくれるので、こんなに出

はプトマイン中毒とぶつてはげしはプトマイン中毒とぶつてはげしいものは死亡し、軽いものはじんで角や即類は出来る丈け新鮮なこで角や即類は出来る丈け新鮮なるのを食べる必要があるが、それを見分けるには次のやうな既に注

らかけそうでり 塊が飛び出しそ れがローばいに の形をした肉の

孺律町二三番風呂水便付

ふ珍妙不可思議な思者が愛知るなって学暖が出来なくなるとい

携導用



南山麓瀬町五五 と、 万半、下八、六、 五十二十五十二 田部 井電三九五三 田部 井

牛乳

湯湖牧道 電点

電六一三四

刷

対 三ユトロダイン エオーエリー

東京 法付五五個より八五個盗 財扇品付百五個より百五十個迄 一二〇一人之情一個 一二〇一人之情一個

家

新書の『久遠の女性』を聞いて。

談は書きなかつたが電車の都合たいものです……」

先生に是非「教育改鑑職」を百頁の長も敬服する教育家の一人です

女給 入用 本人來談 山縣通 カフェーダルニュー 電六七〇五 大給 さん数名入用新規開店優調する 交給 さん数名入用新規開店優調する 交給 さん数名不思い。 変東カフェー 電三七五三 モダンカフェー 電三七五三 モダンカフェー 電三七五三 モダンカフェー 電三七五三

旭亭電三四五三

英文 及邦文タイピスト土短期 英東町西の番地 費 田 邦文 タイピスト短期養成 南品 雰囲気情勢公債復 西部 現せずとも如何なる御相 大連案内社 大連案内社 大連案内社

ニチョパン 電話は六八五 生乳 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 年乳 なら大正枚湯

ラデオは何でも大勉強 三河町二 池内 電入六七五

町二三谷澤電大六六二階の地元電ラデオ改 一面公司可被後可又口:一面公司可被後可又口:一面公司可被後可又口: 流質品 安養·

大連市營城町五八 南海堂 眉山大連市營城町五八 南海堂 眉山 大連樂鈴舎 電九七五三 古品種々有細井三二聖五 古品種々有細井三二聖五

常經播電交叉點若 常経橋電交叉監若狭町入口館長柔劍道五段前田 久郎薬間柔道数擾(新入門随意)

不用

辻 香川商店 電六七五一 品特別高 價 買 受

三河町入口正直洋行電五五五七

産党

三番地の五 永島電二一六七八三番地の五 永島電二一六七八

古道具高調ではまず、電大大つ一番 東東 在 東東東東 東東東東 **港** 同明

来 製川町補洲酒造會社電三二 製川町補洲酒造會社電三二 製川町補洲酒造會社電三二

東島戦場五品食堂 電三二二三 ・ 大名 入用を襲す本人来談 ・ 沙河口大正通 岡栗新聞舗 岡栗新聞舗 岡栗新聞舗

を接触の関係を表現である。 電画をかりや 佐婦乳兒の御相談に脚じます 一種波 浅 野 翻子

西班三五龍六六六 即金高價

賃衣 赛爾儀出

西品 祭司員金融 大連東方社

専門



器西中

東削師··友田莞爾 ● 結 6243 巻

二九訂漢信市總大 = = BO

服場場馬

が東京脚ヶ二東道 番かっち三諸電

藏助中田 爾割藥

実確

庭 正

皮庸病 大連市吉野町ニ五 野中醫院 洋服頻奮發 (手切品商) 店商村西 空至土田區 地震二〇一通馬 空三大四層 地址場市時間

科联咽鼻耳

題友調剤 洋堂禁局

日

177

王三元三三二十十十 十十十 蘇林縣 開新期

曹海波本館

その時でと彼の眼についた風火

(35)

計の中(三)

正则是少作 藤幾久造畵

の策が聞って来たり館の骨に、 ・ の策が聞って来たのだ。 横縁 ・ ないがやって来たのが、それとも ・ も態したをころ、狭い部屋がたったーツきり、卓子が一ツに、押 ・ たんがーッ、その傍らに繋ぶが聞いてあるのだららの上には多ケ牛松が出れてあるのだららの上には多ケ牛松 窓したやうに、扉の側で立止まつ。 窓したやうに、扉の側で立止まつ。 変が浮び出してゐる。彼女は、當 変が浮び出してゐる。彼女は、當 ない」 70 おいたかと思ふと、ガタリと権子 「まあ、質暗で、何も見えや

咲らくさ

簡単に片づけては

風は萬病の源です。 とんでもない間違ひ、 の目

響いた。 比處へやつて來たのだ。一體、どこの女は今、中概に逢ふために きだ來てるないのかしら… いた事を後悔したの一限この女機事は今更、部屋の灯を消して

へ見過した。 早、足膏が腐敗の下る場所をと部屋の中でキョロ/

から聞えて来る

ながら、蛭田殿事は、何處か隠れ

つ特 ね熱 药 効

質効量をのんで

おなほしなさい

一時にすつかり熱を 去り買別領をなほす ので信用ある薬店で

は一番よく変れる薬

と言ふています 私

。備前。岡山生

ちびる病氣はまだ知ら

定價七日分貳円。 たったうち出血ちの海 一方年六再発入 おう手術

十五日分四円

溫

肺病、 肋膜には 大連市栗町二

日下協科殿門院大連市三河町二番地

商西村村

凡ての目的に使用する如何なる網でも御外にの目的に使用する如何なる網でも御光が満洲唯一の店で有がない。

又一向さうな は强ひれだ

モス度

と云ふて前の しい方にスモ

かに商賣じ

方にや商賣離

使ふ可し

電話 夏三七九八番地 大連市祭町十五番地

在庫豐富多少に拘らず御用命願ま 式グ

朝各煖石 - 一月 駅 保各

毛皮鞣、染色、 會議**豊田洋行**被革 電話五五八二署 商會 閉塞、鼻充血、 臭鼻症、鼻格膜腫脹 鼻加答兒、鼻汁過多、鼻 気分をも明るく、而して、記憶力をも强める 細菌を殺すなど、 契約高の多少に均らず御電 を痛を鎖ゆ、 鼻腔内分泌腺を調節し 鼻出血" 腫脹を去り、出血を止め、 鼻病に確實なる効あり 且消炎作用あるを以て… 鼻病液 三井物產株式會社 取大飯質舗規定御申越次第呈上御申越次第2号 を設明せる小册子あり BOE SAR NOVE STREET, SAL LOTIC! 海上。運送。自動車 電話代表セーの

頭痛

のてるた野田検事は、 雅子能した とまだ呼んである。 とまだ呼んである。

く女の能である。しから過を依 おかれ、おかれはるないのし

女は黒っぽい衣服に身を包んで

調味は単に味の素を使

へば足れり、完全唯一

調味料なればなり、

野田椒事は思はず生曜をごこり の髪の先から成離暖跡を軽つて行った曲者―― では他者――

機事はある重要な事を見てと

その観せぎすな層の通しか見えなを向いてゐたので、蛭田梭事には かつた。然し、その関かな瞬間に 懸った。が、生僧な事には、向ふ中からマッチを販出すと、それを 経田機事には

やがて、単松か、それとも…… やつてまたのはおかれではなか やつてまたのはおかれではなか 女は何も類がつかぬ。彼女は関

と、凝っと息を激して待ちゃへての変を見たい。酸を見たい。酸を見たい。彼は

神して時就の中へ滑り込んだ。 神して時就の中へ滑り込んだ。

薄色の 見るから春らしい 多りましたで 感じのする K

切らずやかずい根かめか

んでなどるでを傳送 等的(育教真寫動活)校太 四月一日 新學期開始

ード 新エセツクス等 日華自動車學校(第五一〇八一章)

産婦人の病は婦人の手で 婦人の病は婦人の手で

樂しい遊び場所です

學器二四五六卷

ノーシン!! 頭痛 (t)

校で開催さる

「横濱九日登電」北太平洋上に於 ・ 本部瀬の中を三日に取り裁助教 等して七日機器に入港した長野八 ・ 本部瀬の中を三日に取り裁助教 ・ 本語の中を三日に取り裁助教 ・ 本語のの動員では、第の動者と

親子四人心

生活苦の

切れず前配の始末を自由した

大晴なコスモポリタンとして施石の水上爆製に日を見張らせた鮮人の水上爆製に日を見張らせた鮮人

東京九日夏電』十日郷二十五周年陸取記念日にあたり、天皇隆下は日郷町役を首め焼多園廠に一勢を捧げて心寺駅を開ていたのに得酒肴粉金一封を倒下賜あらせられる事となつた名のものに得酒肴粉金一封を倒下賜あらせられる事となつた。 これら一萬五千名のものに得酒肴粉金一封を倒下賜あらせられる事となつた。 東京九日夏電』十日郷二十五周年陸取記念日にあたり、天皇隆下は日瀬田一村の一大宮相を経て側下賜るらせられる事となった。

て大俣の蘇利となった、閉酸同二 得内一つはゴールなり十一點〇に

リーにて関始されたが、大<u>俱後</u>学 連運所場において施野氏のシフェ

球脱は九日午後一時十五分より大連俱樂部劉育成単校ラダビー

タフト氏の 死

乘船客數

11 110000 育成

虚偽の中告

所 野坂内木北県中黒峡岡立駅石 野坂内木北県中黒峡岡立駅石 野坂内木北県中黒峡岡立駅石 野坂内本北県中黒峡岡立駅石 野坂内本北県中黒峡岡立駅石 野坂内本北県中黒峡岡立駅石 野坂内本北県中黒峡岡立駅石 野坂内本北県中黒峡岡立駅石 東京

聯興號告發さる

凝兵に御下賜金

十日畏きあたりから

萬五千名の

「東京九日養電」御大美を奉祀す ピン、ヘワイ、米園等の邦人駅位 第乗りていいのであるが、最近此の つて居るが、師今後も保証を送金 変を表するが、最近此の つて居るが、師今後も保証を送金 であるが、最近はの所よ たものも相當の世に達して居る、 り三百五十萬圃を補助し、民間か 流して今日送に之等在外邦人より た帝語神物館の復露新楽は政府よ たものも相當の世に達して居る、 を楽して来た帝附金の懇談は二千圃 を楽して来た帝附金の懇談は二千圃 であるが、最近此の つて居るが、師今後も保証を送金

ラ

ピー

蹴球戰

上り列車目がけて飛びる

大連俱樂部と満鎌倶樂部に

育成いづれも零敗

17 98 00

奉與し、発列者一

その日の中に から

京城東京間 來月 一日聯絡飛行ご共に 日から始める

麻漑な時間割は近く決定の管である

肛烈を極めた **建陽占領模擬戰** 祝賀氣分全市に溢る

仕外邦人から

寄附金續々集る

帝室博物館復舊に

に類り、松井静蔵長の コニ十五年 変質及び偕行社員三百餘名祝宴場 変質から新兵器の説明あり、正午 変質から新兵器の説明あり、正午

部の三年生照井與子(線のピアノ) 第「ウキソナのダベ」三竹部校線 部の三年生照井與子(線のピアノ) 部の三年生照井與子(線のピアノ) 第

開し入場遊るムばかりの感覚を極期し入場遊るムばかりの感覚を全夜は小野校開放並に活動寫真を全夜は小野校開放並に活動寫真を全 、小學生

非常な賑ひ 州生高女の 十数ヶ所で

窃盗を働く つき捕はる 人質から足が

はひだつた カリ道つてくれ」でなっ

鐵道自殺

とは数回に取って取職べ の選擇委員長職職可清水 の選擇委員長職職可清水 の選擇委員長職職可清水 のを苦にやんで、八日公

方より園園の爺大本日午後三時電方より園園の爺大本日午後三時電地、オゲ、ニウローク戦は南極地、「で来せたシテト、オゲ、ニウローク戦は南極地

親切第一主義

親切集一主義者及の一般の一直の一方にこれを行ふ

があるためそれ以上を翻載する事となり今日近頃の大港所毎に山東から観べ苦力を運んでくるが、元來日本幹般は定散したでくるが、元來日本幹般は定散

小網鈴阿中山中井上戸山小

二百二十四を懐中し、何二二百二十四を懐中し、何一

さ浦鏡クラブ監育成態校歌

都生れ野田穣一つと

配名氏のレフェリー

その中には判断の数を映画化するをの中には判断の数を映画化するのでこれが得るだけ概込んでくるのでこれが得るだけ概込んでくるのでこれがのいため最近は出来に対している。

の再版に終る、除戦員四時各一トライを得十七戦署に

(内一つゴール成る) 井上、高

を願ひ、脱衣籠の羊服が

ら二百二十四人の財

海上の悪智に

通は現金の散失してゐる。 足鬼に末膨能に飾ったが、 何食は5

對する解放運動

白鹿丸の機關部員が

顧ける孤兄

鮮人辿りつく

ち入職の利和職並木船長の籍ると り入職の利和職並木船長の籍ると

吉田政秀氏

病兵で **脈**なや傷

ですよ、今度は長崎 れですよ、今度は長崎 な行くのですが短時日の ですが短時日の 感じ先づ二十職隊長赤松 脚による在補將校連など 動による在補將校連など

病大輪の矢野穆齊少佐を 守備縁附の強勝正規少佐を 十一日より三日間限

に並ぶ大小の汽船に子供総職で降りたのは好いが

山葉洋行

す今間は更に新製品を多数加へ講習申上ます時中基第一間目編員にて折角御申込に御斷り申上げし方さ

を日とき、永記洋行

岩崎商

フラワーリリ 二囘

Keep Smiling with Kellys

婚姻は記さればんな織物?近頃評判の(實質本位)

大勉强致ますから何卒御引立の母婦人ドレス、毛布其他豐富に取場しました婦人、子供服の春衣外崎爾賓スローウシチ商店支店を

スローウシチ商店

堅牢無比、在庫豐富

斯里會當籤番號 常計七回第九次十六番 第二十八回第三次 五十六番 第二十八回第三次 五十六番 第二十八回第三次 五十六番 一三十四番 八十四番 九十七 一三十四番 八十四番 九十七 一三十四番 八十四番 九十七

は、
をかった。
をかった。
をかった。
をかった。
をかした。
それから厚い観いな。
をかした。
それから厚い観いてあって、その下には更に新聞ががで、
であっていまってがはして悪をこぢあ

「帰職、丘にあった時、腰に凝し

何と言ひ置いて立つつもりだね」と、紫脂が訪れた。

ましいことは言はんが……」

勃利紹久

B

の時、萬事打合せが済んでゐるの

丘さんも領派知の上ならば

2000年では本籍を元の通りにした。

(A)

کے

地

獄

(65)

使法 戀

り、それが一番の方法であるとし り、それが一番の方法であるとし り、それが一番の方法であるとし と、戦三は念を押すやうに言っ でいると仰有つておいでよした」 やうにと仰有つておいでよした」 と、戦三は念を押すやうに言っ

か思はれなかった。

れは聞いてはならぬものなのだ。 しかし僕は彼がこの中に何を書い であるかは充分想像出来る」 常能はなつかしげに書類をなが めて、そしてかびくさい動書を内

號)(新藤州栗町月海

大学で、非優高、 神像社会 「大学で、非優高、 神像社会 を表彰に女勇社發行) を表彰に女勇社發行) を表彰に女勇社發行) を表彰に女勇社發行) を表彰に女勇社發行) を表彰に女勇社發行) を表彰に女勇社發行) を表彰に女勇社發行)

永く保っ



主観知名の薬店にあり

州 景龙

大五菱清茶式會赴

利。日丁四时虚混市重大

五八岁里 香口 0

X外內





弱兒童

よい成績をあけて居る。 田川醫學博士(明)

北井醫學博士 (東京)

產庫脈滎 結核 易 果見るべきものあり。 があるべきを信す。 効あるべきを信す。

新放業、準結核で色々の程度の受費 動変を起して 凹る者に 投乗したの に、何れも比較的速かに受養を増進 に、何れも比較的速かに受養を増進 ----大野醫學博士(大阪)

たること少からず。 関し、ボッタミンを用ひしむること 関し、ボッタミンを用ひしむること 開発質、病英変崩其他一般量耐見に ……須藤雅學博士(京都)

獎推御士博學醫の名餘十八百二

壯强養滋血補

ポリタミンは軍な る機制又は蛋白製剤 でなく近代腎化學に 基くアミノ機製剤で もの効果の傑出せる は左の教文にみて明 × × × ×

道下



◎日光の感受不足は疾患の根 ◎日光を科學的に應用し種々が治る ◇ではアメリカで旺に歌迎されて居 ◇ではアメリカで旺に歌迎されて居 ◇ではアメリカで旺に歌迎されて居

恩の根源となる思の根源となる

太陽光線療

区大阪店船山

照の時午後三時迄

雞媽野 大連治療院

器械の完全なる とは変化して大きいのである。 賣販賦々月ケ十 ジュラッシア蓄音器

御一報次第型 錄進至可住候 章和 商會

小田醫學博士 (大阪)

高砂工業會社製

地下室。

開 市 山場大 所であります。副門を住促せられる能 がであります。副門を住促せられる能 がであります。副門を住促せられる能 がであります。

政 政 記 輪 沿 山 帆 政 記 輪 沿 山 帆 四 記 輪 沿 山 帆 四 記 輪 沿 山 帆 四 記 輪 沿 山 帆 四 記 輪 沿 山 帆 四 記 輪 沿 山 帆 四 記 輪 沿 山 帆 四 記 輪 沿 山 帆 四 記 輪 沿 山 帆

神木ンリキ店

■阿波共同汽船

珍味の中心 扶桑仙館 · 注述之宗間命令 · 注述之宗間命令 · 注述之宗間命令 · 注述之宗間命令 代理店 松浦汽船城會社 三月宝日後六時

人氣の焦點…

電話一旦亦人專用階

電話四一四一番 曾商 心本曾商榮 SONEALISE 即哪門連續而達大 一阪神杭路専鵬荷被店、大連須停時 電話七二七五。七八八八 電話四有強質所、大連伊勢町) で、大連家等で、大連須停時 で、大連家で、大連須停時 車馬船将案内所 信濃町遼東ホテル内電七五七四 信濃町遼東ホテル内電七五七四 ・乗船切存養資所 大連市伊勢町 ・シヤ・ハン・ツーリスト ジヤ・ハン・ツーリスト ジヤ・ハン・ツーリスト ・シースト ・シースト ・シースト ・シースト 信用了。 一種 直 行 先島丸 三月十五 大阪 附 新 直 行 先島丸 三月九日 大阪 附 新 大連支 上 電話四一三七番 電話四一三七番 大國市山縣面電話上上三九 明幹觀新株式會社大連出現底 明幹觀新株式會社大連出現底 明幹觀新株式會社大連出現底 山戶木 丸 九九